

## 第4章 居宅サービス利用者調査

## 1 対象者についての基本的事項

## (1) 記入者

## ア 記入者

表 3-1 記入者 (%)

調査数	宛名のご本人	ご家族	その他	無回答
1871	1045	732	18	76
100.0	55.9	39.1	1.0	4.1

アンケートの回答者は、「宛名のご本人」55.9%に対し、「ご家族」が39.1%となっている。

## イ 本人が回答できない理由

表 3-2 本人が回答できない理由 (%)

調査数	病院に入院中	(介護保険施設に入所 入院)中	病气やけが	物が忘れがあり、 時々難しい、 意志疎通	が痴ほうのため 意志疎通	障害(身体障害、 知的障害など)	別居・転居	答えたくない	その他	無回答
750	84	51	40	180	132	139	2	17	71	35
100.0	11.2	6.8	5.4	23.9	17.5	18.5	0.2	2.3	9.5	4.7

本人が回答できない理由としては、「物忘れがあり、意志疎通が時々難しい」が23.9%と最も多く、次いで「障害(身体障害、知的障害など)」(18.5%)、「痴ほうのため意志疎通がいつも難しい」(17.5%)となっている。

(2) 年齢別・性別構成

図 3-1 年齢構成

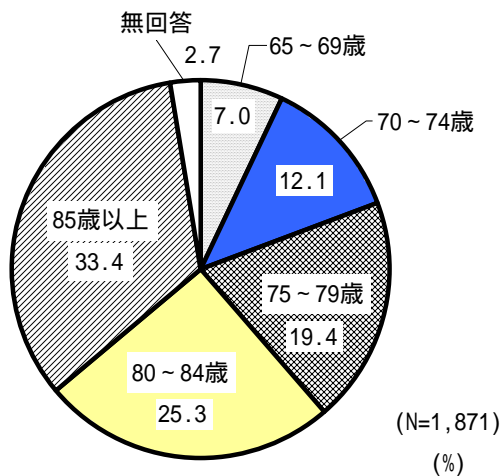
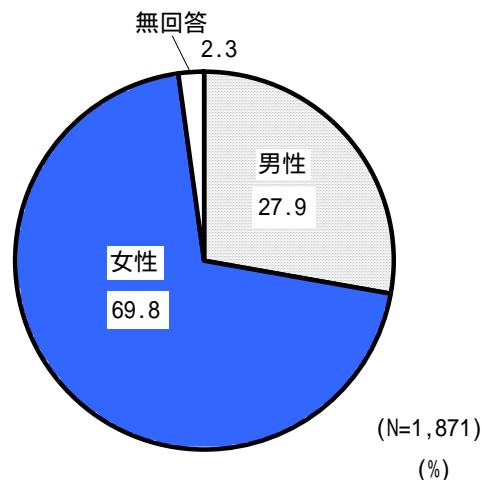


図 3-2 性別構成



調査対象者の年齢構成は、「85歳以上」が33.4%と最も多く、次いで「80~84歳」(25.3%)、「75~79歳」(19.4%)と、年齢が上がるほど割合も高くなっている。

性別構成については、男性27.9%、女性69.8%と、女性の方が40%以上多くなっている。

(3) 居住地域

ア 居住地区

表 3-3 居住地区

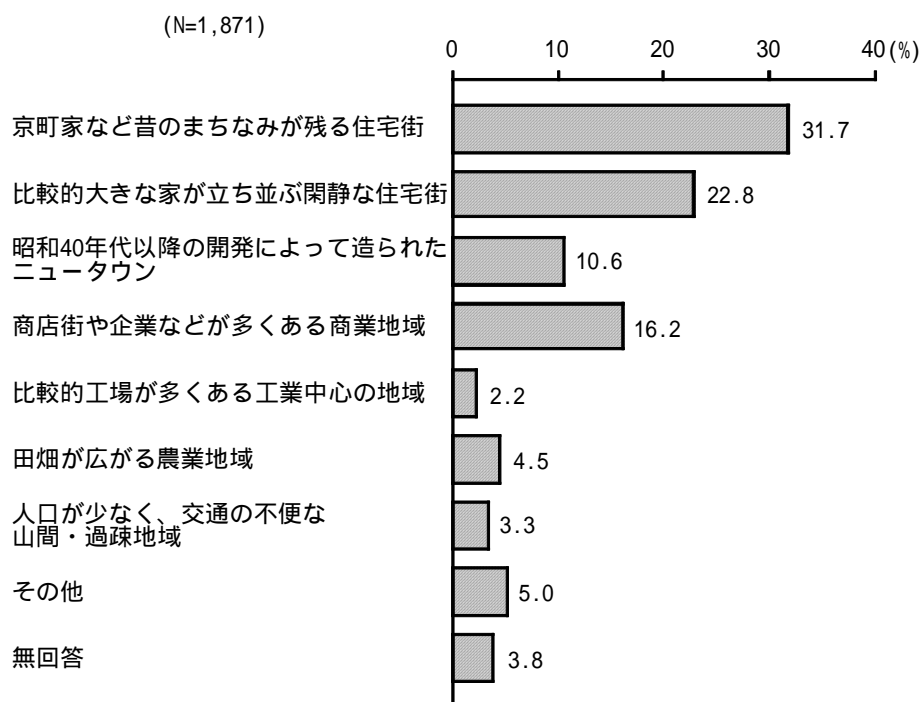
(%)

調査数	北区	上京区	左京区	中京区	東山区	山科区	下京区	南区	右京区(京北町を含む)	西京区	洛西支所	伏見区	深草支所	醍醐支所	無回答
1871	161	176	253	161	70	122	128	114	223	123	9	247	35	24	25
100.0	8.6	9.4	13.5	8.6	3.7	6.5	6.8	6.1	11.9	6.6	0.5	13.2	1.9	1.3	1.4

居住地区は、「左京区」「右京区(京北町を含む)」「伏見区」の3区が10%を超えている。

## イ 地域の特性

図 3-3 地域の特性

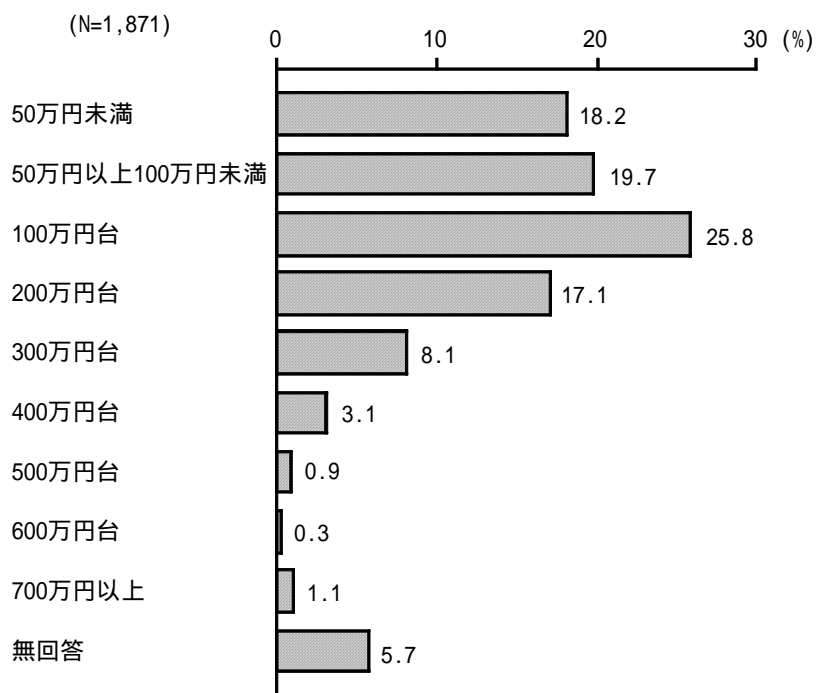


地域の特性については、「京町家など昔のまちなみが残る住宅街」が 31.7%と最も多く、次いで「比較的大きな家が立ち並ぶ閑静な住宅街」(22.8%)、「商店街や企業などが多くある商業地域」(16.2%)となっている。

#### (4) 収入

##### ア 本人の年収

図 3-4 本人の年収

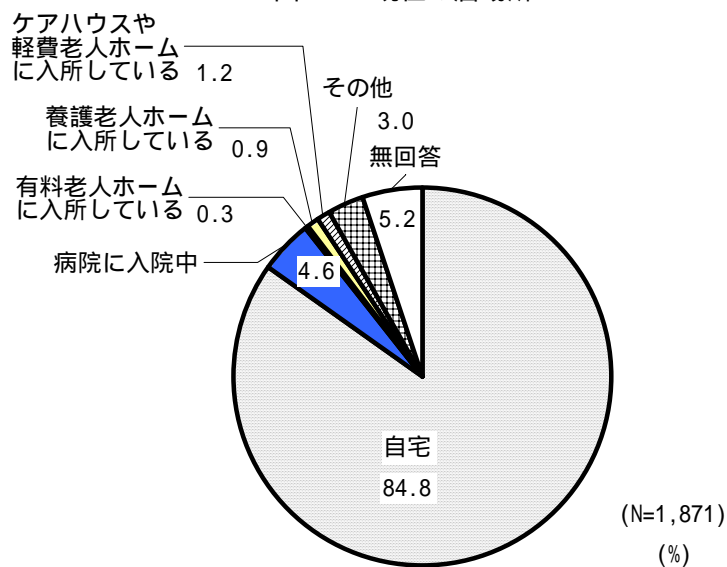


調査対象者本人の年収は、「100万円台」が25.8%と最も多く、次いで「50万円以上100万円未満」(19.7%)、「50万円未満」(18.2%)となっている。

#### (5) 住居形態

##### ア 現在の居場所

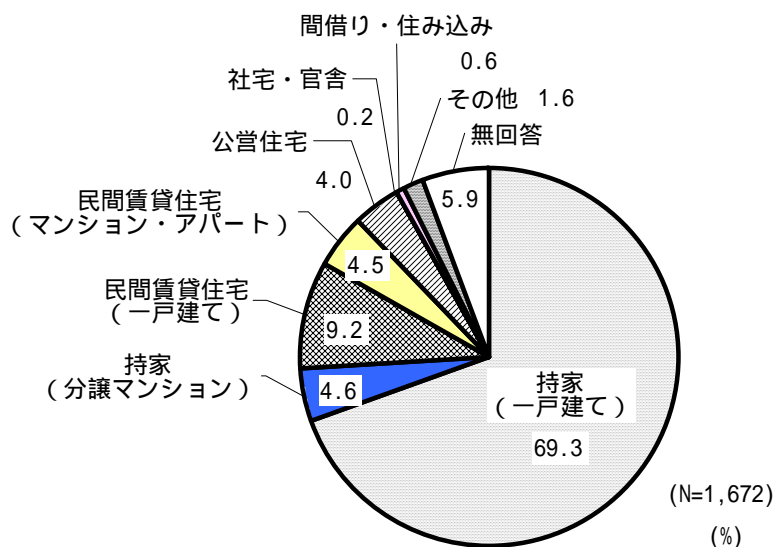
図 3-5 現在の居場所



現在の居場所としては、「自宅」が84.8%を占め、そのほかは「病院に入院中」(4.6%)、「ケアハウスや軽費老人ホームに入所している」(1.2%)などとなっている。

イ 住まいの形態

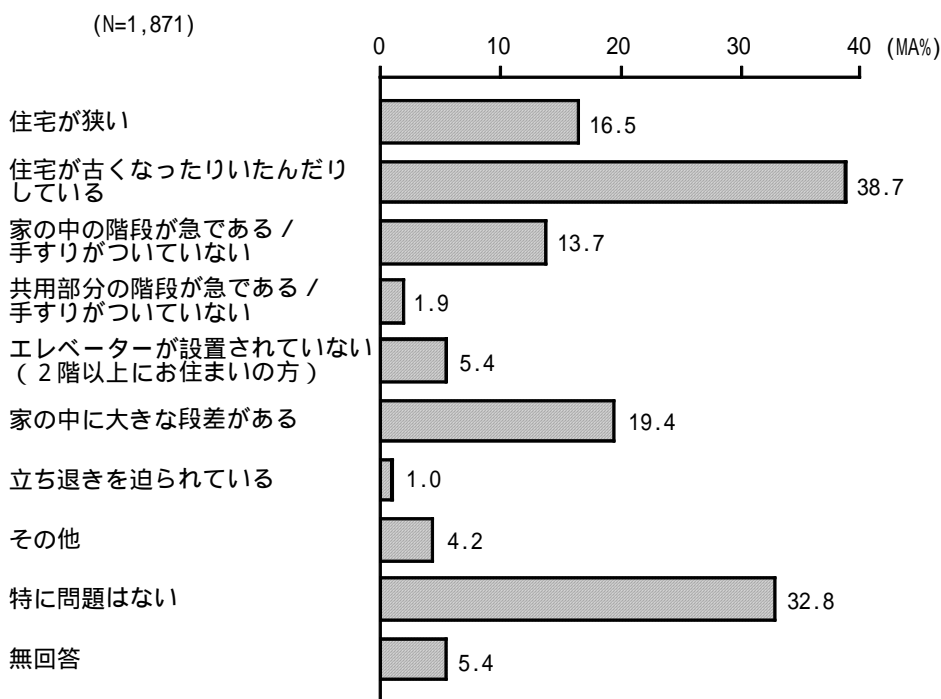
図 3-6 住まいの形態



自宅または入院中の人の住まいの形態は、「持家（一戸建て）」が 69.3%と圧倒的に多く、そのほかは「民間賃貸住宅（一戸建て）」が 9.2%、「持家（分譲マンション）」が 4.6%、「民間賃貸住宅（マンション・アパート）」が 4.5%となっている。

ウ 住まいの状況

図 3-7 住まいの状況



住まいの状況については、「住宅が古くなったりいたんだりしている」が 38.7%と最も多く、次いで「家の中に大きな段差がある」(19.4%)、「住宅が狭い」(16.5%)となっている。

表 3-4 住まいの形態別 住まいの状況

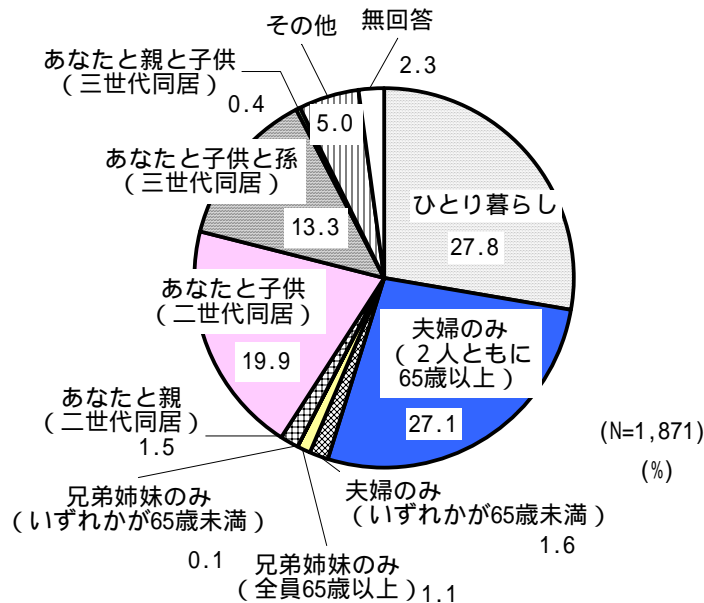
	調査数 (N)	住宅が狭い	住宅が古くなったりい たんだりしている	家の中が急いでい ない/手すりがない	共用部分の手すりがない	エレベーターがない(2階以上)	家の中に大きな段差がある	立ち退きを迫られている	その他	特に問題はない	無回答
持家(一戸建て)	1160	15.3	39.5	13.7	0.6	5.2	21.1	0.2	2.9	34.3	1.8
持家(分譲マンション)	76	15.5	6.3	2.8	9.1	4.6	10.9	-	2.0	61.0	5.1
民間賃貸住宅(一戸建て)	154	25.1	80.8	29.2	0.7	0.5	34.4	5.8	5.7	9.5	-
民間賃貸住宅(マンション・アパートなど)	76	28.9	47.1	13.7	12.2	10.0	19.1	6.9	7.7	22.1	1.0
公営住宅	68	11.5	19.5	4.1	7.5	17.7	8.3	1.7	4.3	45.5	5.1
社宅・官舎	3	-	71.8	-	28.2	28.2	-	-	43.7	28.2	-
間借り・住み込み	10	26.7	38.0	38.0	11.3	26.7	11.3	-	-	50.8	11.3
その他	27	29.8	60.1	13.1	-	-	24.3	-	20.0	23.2	5.5
無回答	99	6.1	19.9	12.6	-	2.8	5.0	-	10.6	36.1	16.9
合計	1672	16.4	40.5	14.3	1.9	5.4	20.3	1.1	4.2	33.1	2.9

住まいの形態別にみると、民間賃貸住宅(一戸建て)では、「住宅が古くなったりい  
たんだりしている」が80%に達しており、このほか、「家の中に大きな段差がある」「家  
の中の階段が急である/手すりがない」などの割合も相対的に高くなっている。

(6) 世帯の状況

ア 世帯構成

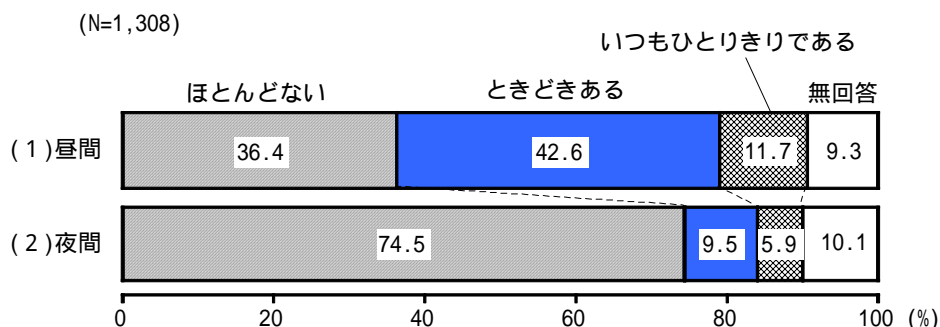
図 3-8 世帯構成



世帯構成は、「夫婦のみ(2人とも65歳以上)」「ひとり暮らし」がいずれも27%台と多く、次いで「あなたと子供(二世帯同居)」「あなたと子供と孫(三世帯同居)」(13.3%)となっている。

イ 昼間独居等の状況

図 3-9 昼間独居等の状況



家族と同居している高齢者のうち、昼間、ひとりきりになることがある人は54.3%を占め、「いつもひとりきりである」は11.7%となっている。

同様に、夜間、ひとりきりになることがある人は15.4%であり、「いつもひとりきりである」は5.9%となっている。

表 3-5 要介護度別 家族介護力

(%)

	調査数 (N)	ひとり暮らし	夫婦のみの世帯	と本人と兄弟姉妹/本人	な、子どもが同居に	こ、子どもと同居に	無回答
要支援	213	47.0	27.4	3.1	15.0	4.7	2.8
要介護1	826	34.9	30.5	2.0	21.8	7.0	3.7
要介護2	348	18.5	27.5	4.4	25.5	17.8	6.4
要介護3	240	16.3	25.4	1.6	30.4	19.4	6.9
要介護4	139	12.7	27.0	2.5	23.2	26.7	7.9
要介護5	104	10.3	30.0	2.8	17.2	32.8	6.9
無回答	-	-	-	-	-	-	-
合計	1871	27.8	28.7	2.6	22.7	13.3	5.0

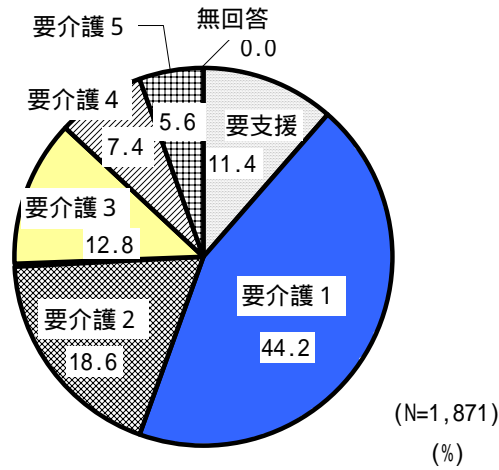
要介護度別にみると、「ひとり暮らし」の割合は、要支援で47.0%を占めているが、要介護度が高くなるほど減少し、要介護度4及び5では1割強となっている。一方、「子ども・孫と同居で、昼間ひとりきりになることはない」は要介護度が高くなるほど割合が増加し、要介護5では32.8%となっている。



(7) 要介護度とその変化

ア 要介護度

図 3-10 要介護度



調査対象者の要介護度は、「要介護1」が44.2%と最も多く、次いで「要介護2」(18.6%)、「要介護3」(12.8%)となっている。

表 3-6 性・年齢別 要介護度

(%)

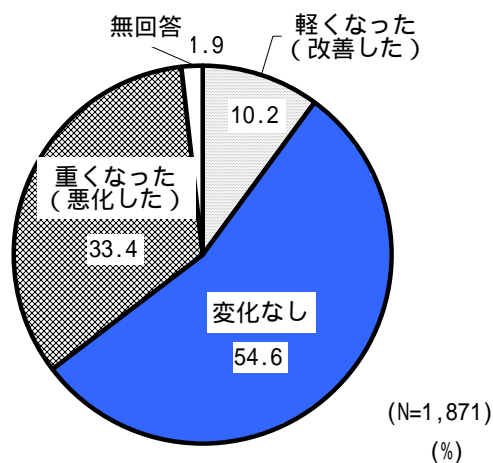
	調査数 (N)	要支援	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	無回答
男性(全体)	521	8.4	41.5	19.3	16.8	7.8	6.3	-
65～69歳	49	9.4	39.2	16.5	19.8	7.1	7.9	-
70～74歳	79	7.5	45.6	14.8	17.1	6.7	8.2	-
75～79歳	103	9.7	35.0	15.9	21.2	10.7	7.6	-
80～84歳	132	8.5	44.0	19.4	15.9	6.7	5.4	-
85歳以上	154	7.7	43.2	23.5	13.2	7.7	4.7	-
女性(全体)	1307	12.5	45.2	18.1	11.4	7.5	5.3	-
65～69歳	82	10.6	47.6	18.6	10.2	8.7	4.4	-
70～74歳	148	13.9	54.4	13.4	7.6	6.0	4.6	-
75～79歳	261	16.3	50.0	15.7	9.0	5.9	3.1	-
80～84歳	341	16.1	49.5	16.8	8.6	4.8	4.2	-
85歳以上	470	7.8	36.0	21.9	16.2	10.6	7.6	-
無回答	43	12.4	45.4	24.6	10.6	1.0	6.1	-
合計	1871	11.4	44.2	18.6	12.8	7.4	5.6	-

男性全体と女性全体を比べると、「要支援」及び「要介護1」の割合は、女性の方が男性よりも高くなっている。

性・年齢別にみると、「要支援」の割合は女性の75～84歳で約16%と高い。また、「要介護1」の割合については、女性の70～84歳で50%前後を占めている。

## イ 要介護度の変化

図 3-11 要介護度の変化



要介護度が以前に比べて「軽くなった (改善した)」は 10.2% , に対して「重くなった (悪化した)」は 33.4%と多くなっている。

表 3-7 要介護度別 要介護度の変化 (未利用者との比較)

	【サービス利用者】					【サービス未利用者】 (%)				
	調査数 (N)	(軽くなった (改善した))	変化なし	(重くなった (悪化した))	無回答	調査数 (N)	(軽くなった (改善した))	変化なし	(重くなった (悪化した))	無回答
要支援	213	19.6	57.9	13.4	9.0	125	16.7	55.8	15.2	12.3
要介護 1	826	12.1	59.1	27.9	1.0	204	19.5	56.1	20.7	3.7
要介護 2	348	6.7	54.7	37.6	1.0	68	9.6	55.4	31.3	3.6
要介護 3	240	6.3	46.1	46.1	1.6	40	7.9	36.8	53.9	1.3
要介護 4	139	5.4	43.5	51.1	-	50	7.6	35.4	54.4	2.5
要介護 5	104	2.5	45.9	51.3	0.3	51	2.5	40.0	52.5	5.0
無回答	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
合計	1871	10.2	54.6	33.4	1.9	538	14.0	51.1	29.4	5.5

要介護度別にみると、「軽くなった (改善した)」割合は軽度の人ほど高く、要支援で 19.6%、要介護 1 で 12.1%となっている。一方、要介護 4 及び 5 では、50%強が「重くなった (悪化した)」と回答している。

サービス未利用者と比べると、要支援では利用者の方が未利用者よりも「軽くなった (改善した)」割合が高くなっている。一方、「重くなった (悪化した)」割合は、要介護 1 及び 2 では利用者の方が、要介護 3 以上では未利用者の方が高くなっており、利用者と未利用者では要介護度による傾向の違いがみられる。

表 3-8 この1年間に転倒してケガをした経験別 要介護度の変化  
(%)

	調査数 (N)	(軽くなった) (改善した)	変化なし	(悪くなった) (悪化した)	無回答
ある	649	11.4	49.0	37.5	2.1
ない	1147	9.6	57.3	31.4	1.7
無回答	75	7.5	60.7	28.7	3.1
合計	1871	10.2	54.6	33.4	1.9

最近1年間の転倒経験の有無別にみると、「重くなった(悪化した)」割合は、転倒経験のない人31.4%に対し、転倒経験のある人では37.5%と高くなっている。

表 3-9 近所付き合いの程度別 要介護度の変化

	調査数 (N)	(軽くなった) (改善した)	変化なし	(重くなった) (悪化した)	無回答
困った時に助け合う	216	12.3	57.4	28.4	1.9
世間話や立ち話をする程度	426	14.3	57.7	25.8	2.2
顔を合わせばあいさつする程度	856	9.4	56.9	31.6	2.1
付き合いをしていない	308	5.1	42.2	52.1	0.7
無回答	65	10.3	52.1	34.8	2.8
合計	1871	10.2	54.6	33.4	1.9

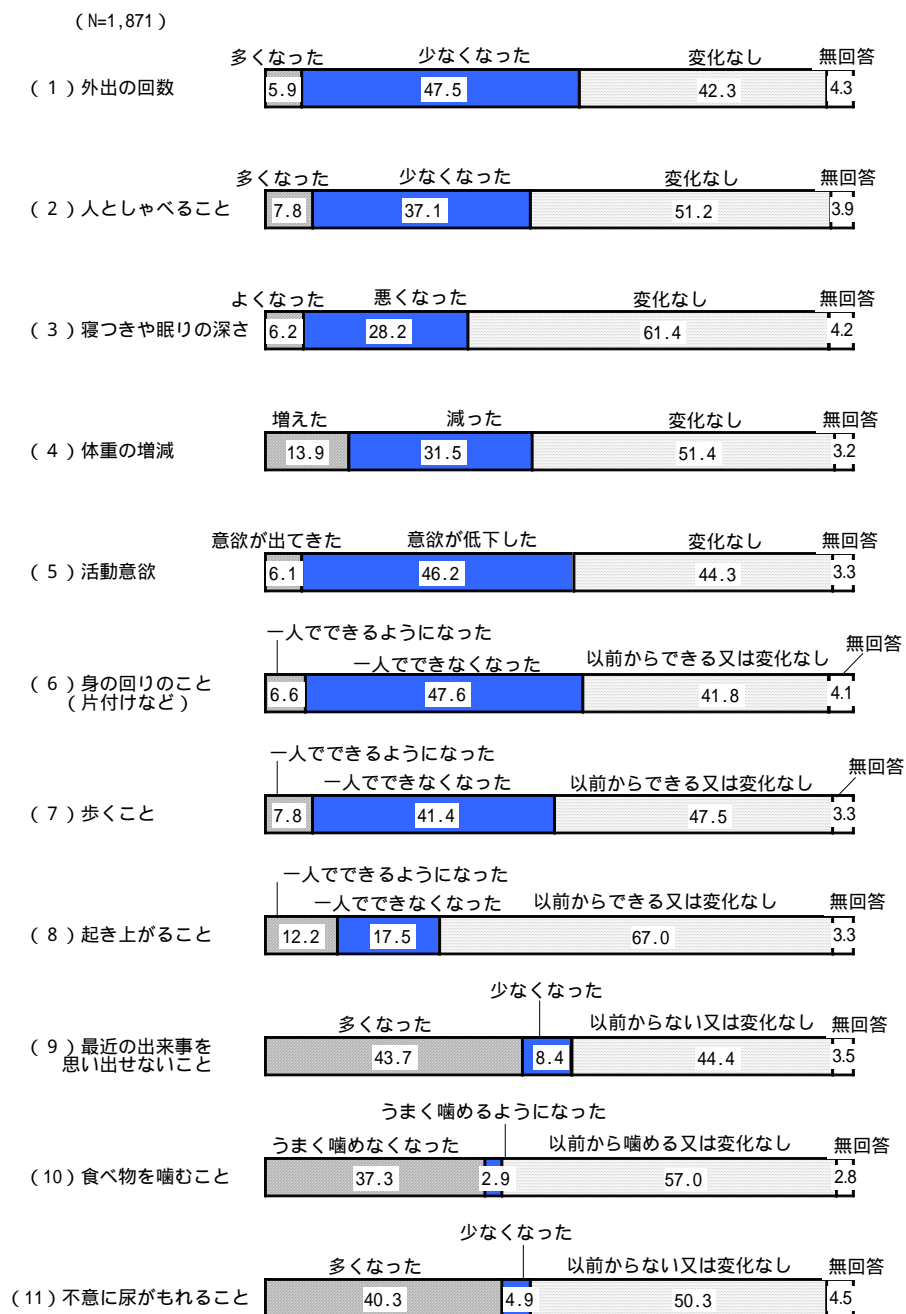
近所付き合いの程度別にみると、近所付き合いの希薄な人では悪化傾向が強く、「付き合いをしていない」人では「重くなった(悪化した)」割合が52.1%となっている。

## 2 身体・生活の状況について

## (1) 最近半年間の心身の変化

## ア 最近半年間の心身の変化

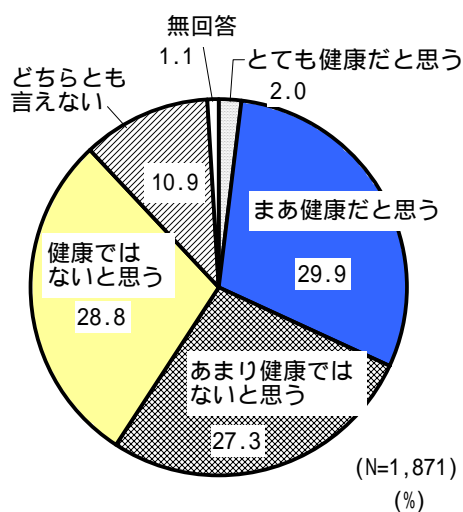
図 3-12 最近半年間の心身の変化



この半年間に心身の状態に変化が見られたかたずねたところ、『(3)寝つきや眠りの深さ』『(8)起き上がること』では「変化なし」が60%以上を占めているが、『(6)身の回りのこと(片付けなど)』をはじめ、『(7)歩くこと』『(5)活動意欲』などでは、低下や悪化を表す回答が40%台と多くなっている。

## イ 日ごろの健康状態

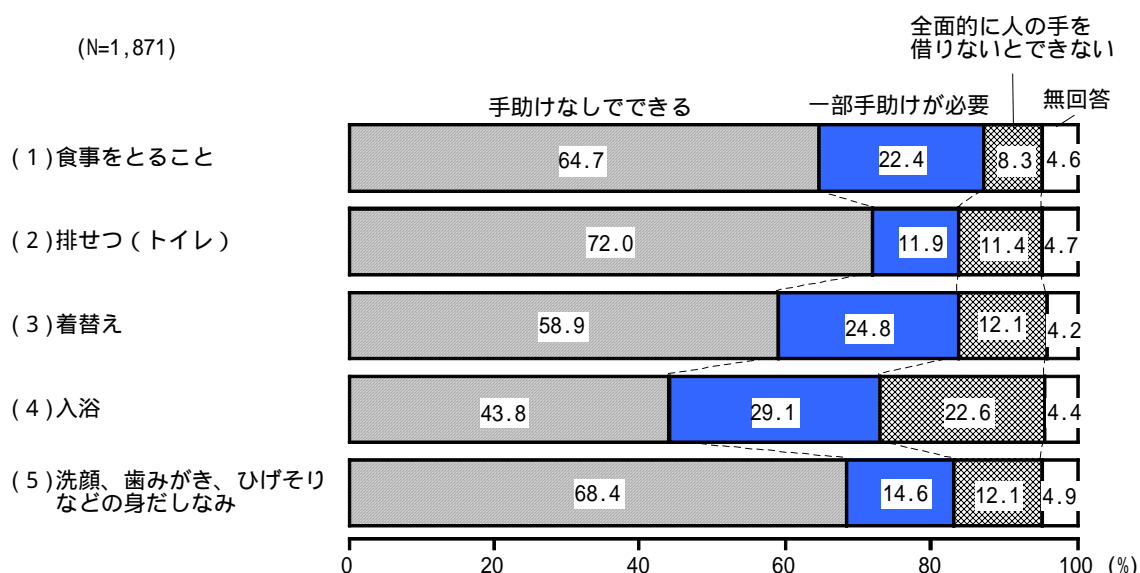
図 3-13 日ごろの健康状態



日ごろの健康状態については、『健康だと思う(計)』(「とても健康だと思う」に「まあ健康だと思う」を加えた割合)の31.9%に対し、『健康ではないと思う(計)』(「健康ではないと思う」に「あまり健康ではないと思う」を加えた割合)が56.1%と多くなっている。

### (1) 日常生活動作(基本的ADL)

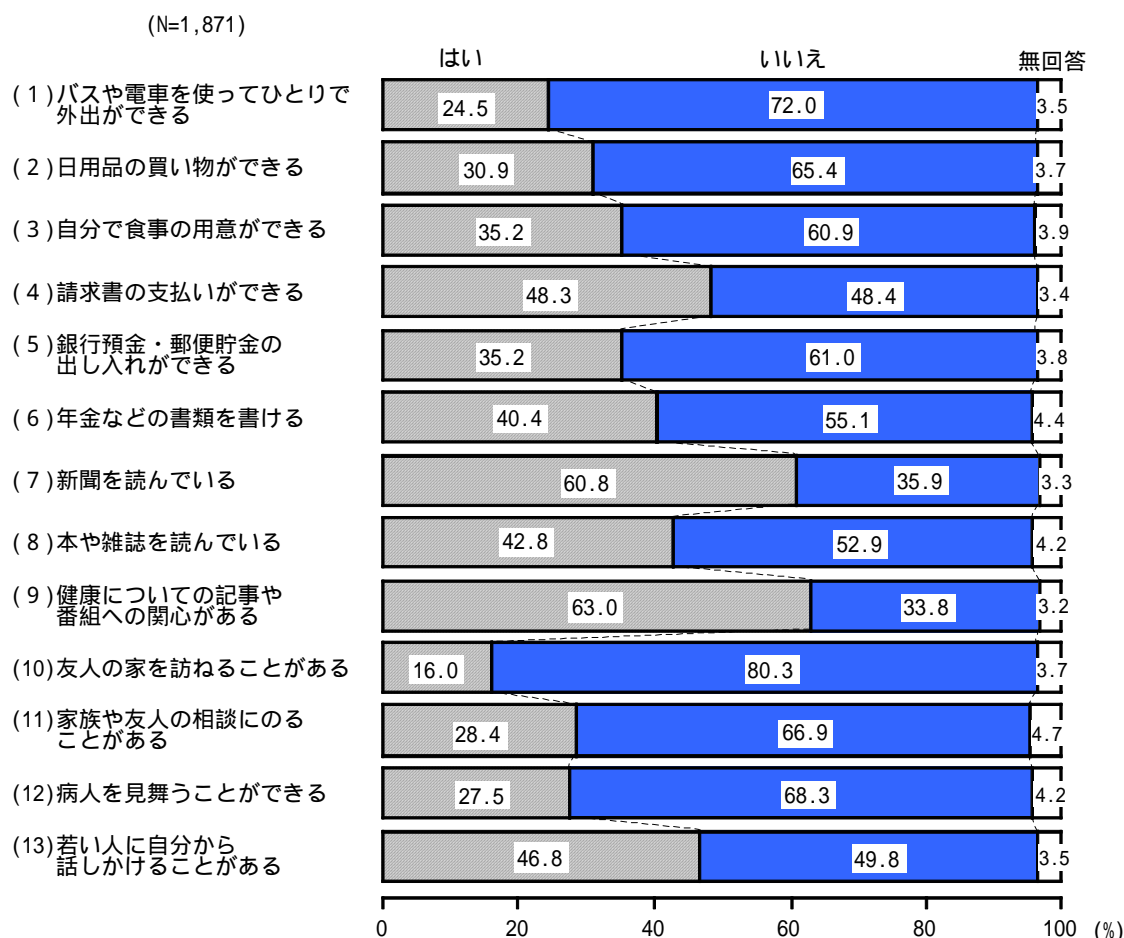
図 3-14 日常生活動作(基本的ADL)



基本的な日常基本動作のうち、『(4)入浴』については「全面的に人の手を借りないといけない」が22.6%と多く、「一部手助けが必要」(29.1%)を合わせると、5割を超える人が介助を必要としているのがわかる。

## (3) 老研式活動能力指標（高次ADL）

図 3-15 老研式活動能力指標（高次ADL）



高次の日常生活動作をみると、老研式活動能力指標の13項目中、『(7)新聞を読んでいる』『(9)健康についての記事や番組への関心がある』について「はい」が60%以上を占めるが、『(10)友人の家を訪ねることがある』(80.3%)をはじめとして、『(1)バスや電車を使ってひとりで外出ができる』(72.0%)、『(12)病人を見舞うことができる』(68.3%)などについては、「いいえ」の割合が高くなっている。

老研式活動能力指標総合点の平均は5.1点となっている。

表 3-10 要介護度別 老研式活動能力指標（高次 A D L）

(%)

	調査数 (N)	0 } 3 点	4 } 6 点	7 } 9 点	10 点以上	無回答	平均
要支援	213	7.5	11.2	28.3	52.0	0.9	9.1
要介護 1	826	21.5	26.8	24.8	23.8	3.0	6.6
要介護 2	348	54.0	23.8	14.4	4.7	3.0	3.6
要介護 3	240	71.8	19.4	5.0	2.5	1.3	2.5
要介護 4	139	81.6	12.7	2.5	1.0	2.2	1.7
要介護 5	104	88.4	4.1	0.9	2.8	3.8	1.0
無回答	-	-	-	-	-	-	-
合計	1871	40.6	21.2	17.8	17.9	2.5	5.1

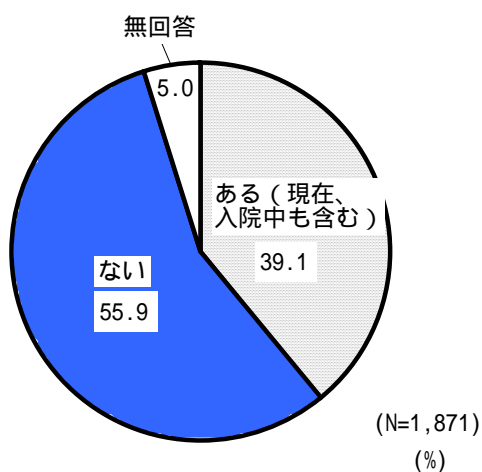
老研式活動能力指標総合点の分布を要介護度別にみると、「10 点以上」の割合は、要支援では 52.0%を占めるが、要介護 1 では 23.8%へと半減し、要介護 2 以上では 5%に満たない。

総合点の平均は、要支援では 9.1 点、要介護 1 では 6.6 点となっており、要介護度が高くなるにつれて低下している。

(4) 入院経験と現在治療を受けている病気

ア この1年間に入院した経験

図 3-16 この1年間に入院した経験



この1年間に入院したことがある人は、現在入院中の人も含め 39.1%となっている。

イ 現在治療を受けている病気

表 3-11 現在治療を受けている病気

(MA%)

調査数	高血圧症	高脂血症	心臓病(心筋梗塞、狭心症など)	脳血管疾患(脳梗塞、脳出血など)	呼吸器系疾患(喘息、肺炎など)	結核	消化器系疾患	泌尿器系疾患	腎臓病	肝臓病	糖尿病	腰痛、膝痛などの病気	眼の病気	耳、鼻の病気	精神疾患	歯の病気	その他	特になし	無回答
1871	733	139	513	334	194	4	295	258	136	90	262	734	599	188	126	304	324	62	63
100.0	39.2	7.5	27.4	17.9	10.4	0.2	15.8	13.8	7.3	4.8	14.0	39.2	32.0	10.0	6.8	16.2	17.3	3.3	3.4

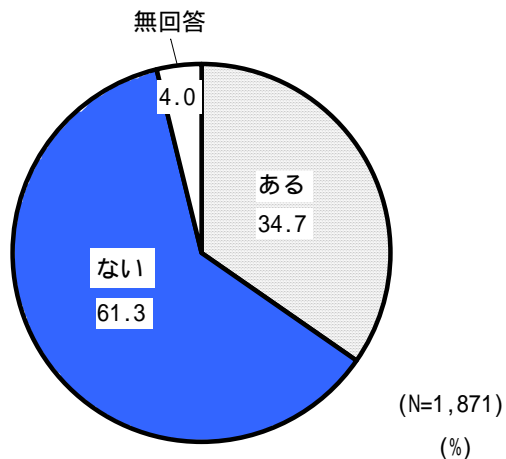
現在治療を受けている病気としては、「高血圧症」と「腰痛、膝痛などの病気」が 39.2%と最も多く、次いで「眼の病気」(32.0%)、「心臓病(心筋梗塞、狭心症など)」(27.4%)、「脳血管疾患(脳梗塞、脳出血など)」(17.9%)などとなっている。



(5) 転倒経験

ア この1年間に転倒してケガをした経験

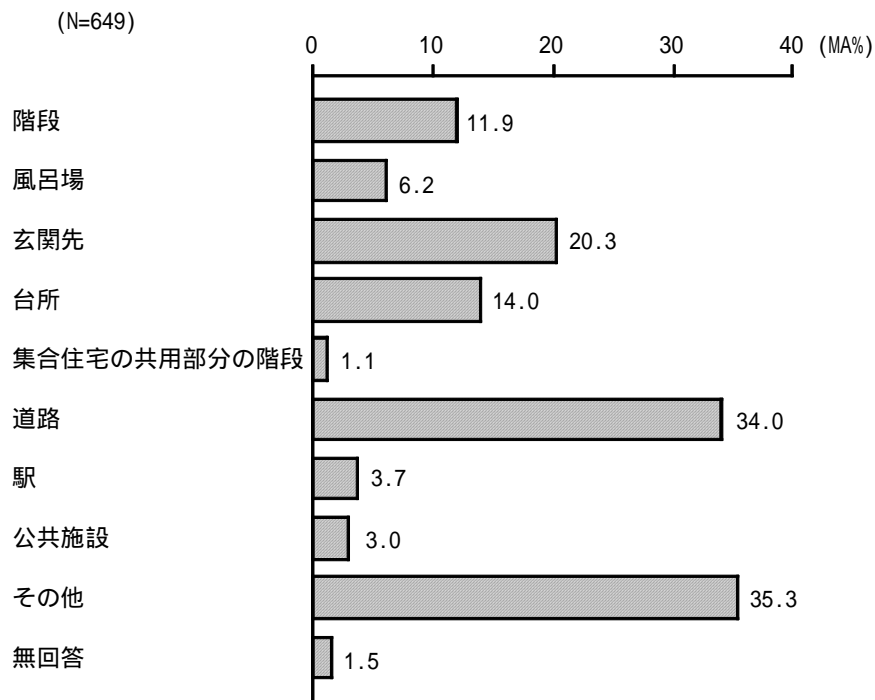
図 3-17 この1年間に転倒してケガをした経験



この1年間に転倒してケガをしたことがある人は、34.7%となっている。

イ 転倒した場所

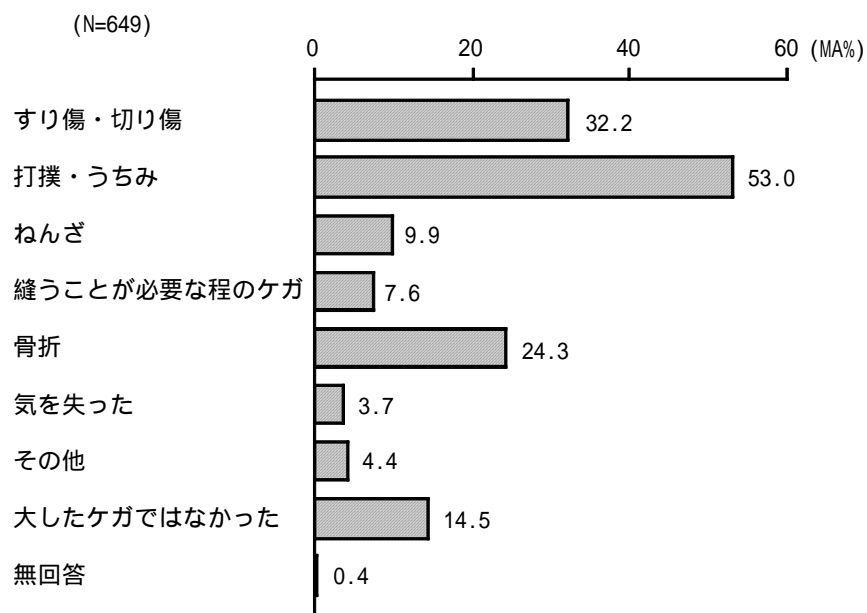
図 3-18 転倒した場所



転倒した場所としては、「道路」が 34.0%と最も多く、次いで「玄関先」(20.3%)、「台所」(14.0%) となっている。

## ウ 転倒したときのケガの程度

図 3-19 転んだときのケガの程度

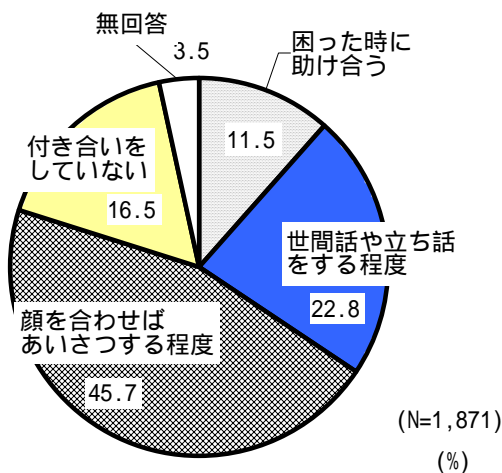


転倒したときのケガの程度をみると、「打撲・うちみ」が 53.0%と最も多く、次いで「すり傷・切り傷」(32.2%)、「骨折」(24.3%)となっている。

(6) 近所付き合いと社会参加・生きがい活動の状況

ア 近所付き合いの程度

図 3-20 近所付き合いの程度

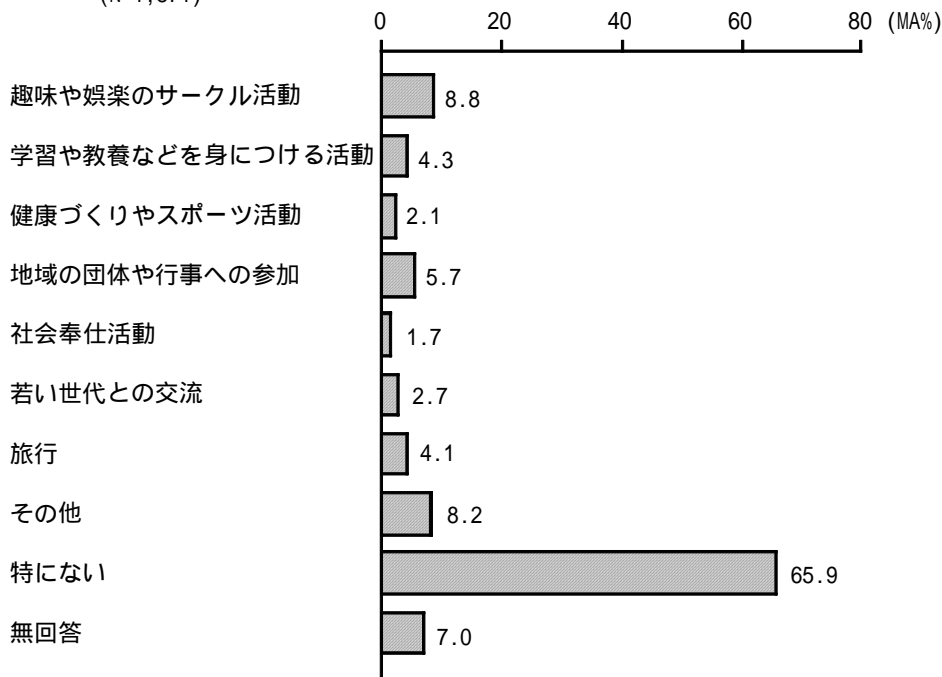


近所付き合いの程度は、「顔を合わせばあいさつする程度」が 45.7%と最も多く、次いで「世間話や立ち話をする程度」(22.8%)であり、「困った時に助け合う」は 11.5%となっている。

イ 生きがい活動への参加状況

図 3-21 生きがい活動への参加状況

(N=1,871)

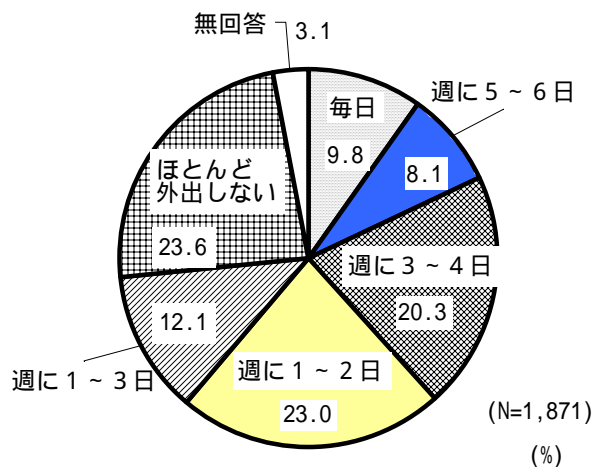


現在参加している生きがい活動については、「特にない」が 65.9%を占めている。参加している活動としては、「趣味や娯楽のサークル活動」が 8.8%、「地域の団体や行事への参加」が 5.7%、「旅行」が 4.1%などとなっている。

(7) 外出の状況

ア 外出の頻度

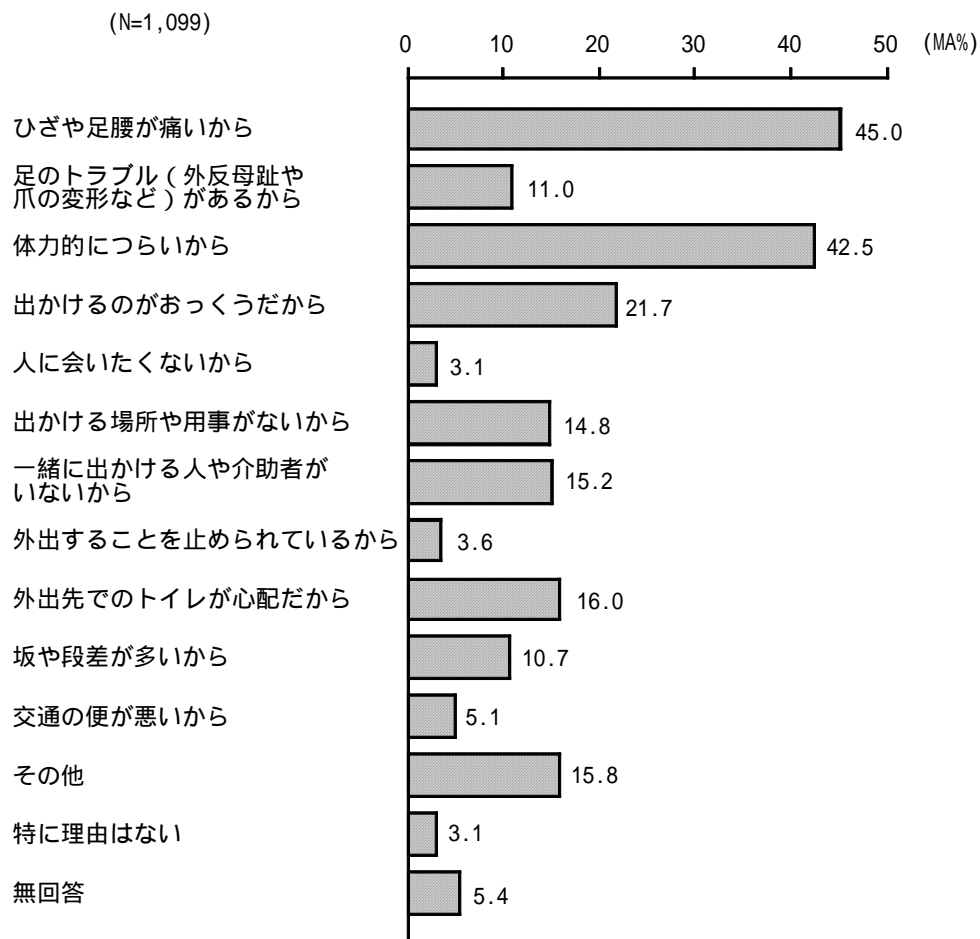
図 3-22 外出の頻度



外出する頻度をみると、「ほとんど外出しない」が 23.6%と最も多く、次いで「週に1~2日」(23.0%)、「週に3~4日」(20.3%)となっている。

イ 外出を控える理由

図 3-23 外出を控える理由

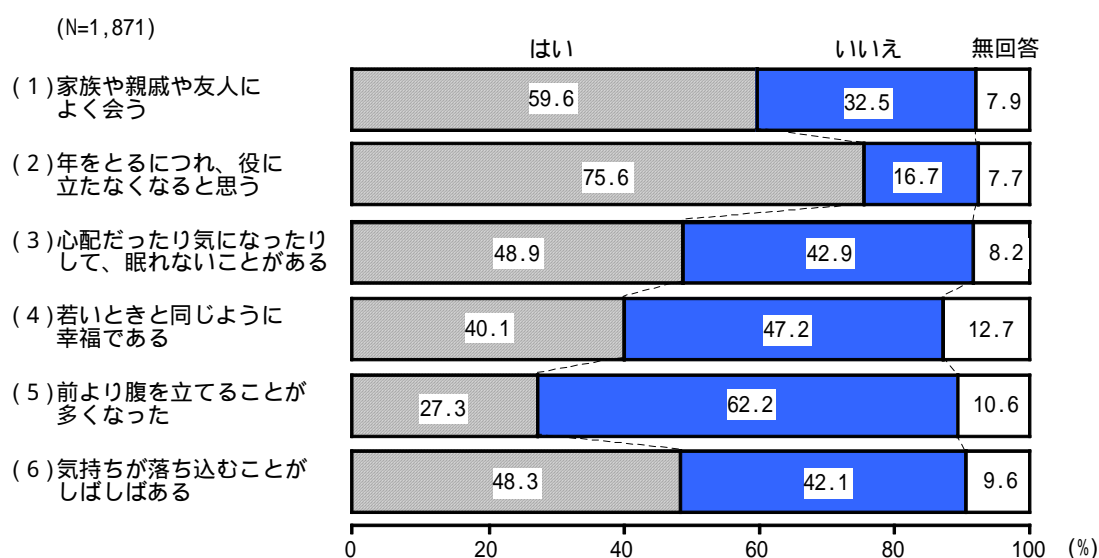


外出頻度が週に1～2日以下の人に外出を控える理由をたずねたところ、「ひざや足腰が痛いから」「体力的につらいから」がともに40%台と多く、次いで「出かけるのがおっくうだから」(21.7%)、「外出先でのトイレが心配だから」(16.0%)などとなっている。

(8) 主観的幸福感

ア 主観的幸福感(モラール・スケール)

図3-24 主観的幸福感(モラール・スケール)



『(1) 家族や親戚や友人によく会う』では「はい」が59.6%と過半数を占めるが、『(4) 若いときと同じように幸福である』については40.1%と少なくなっている。

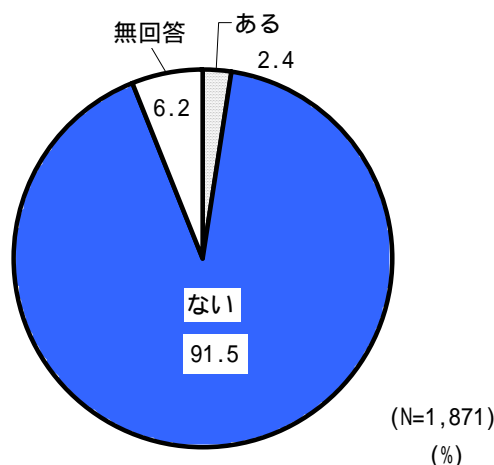
また、『(5) 前より腹を立てることが多くなった』では「いいえ」が62.2%を占める一方、『(2) 年をとるにつれ、役に立たなくなると思う』については16.7%と少なくなっている。

### 3 介護保険サービスの利用状況

#### (1) 障害や疾患等を理由にサービス利用を断られた経験

##### ア 障害や疾患等を理由に利用を断られた経験の有無

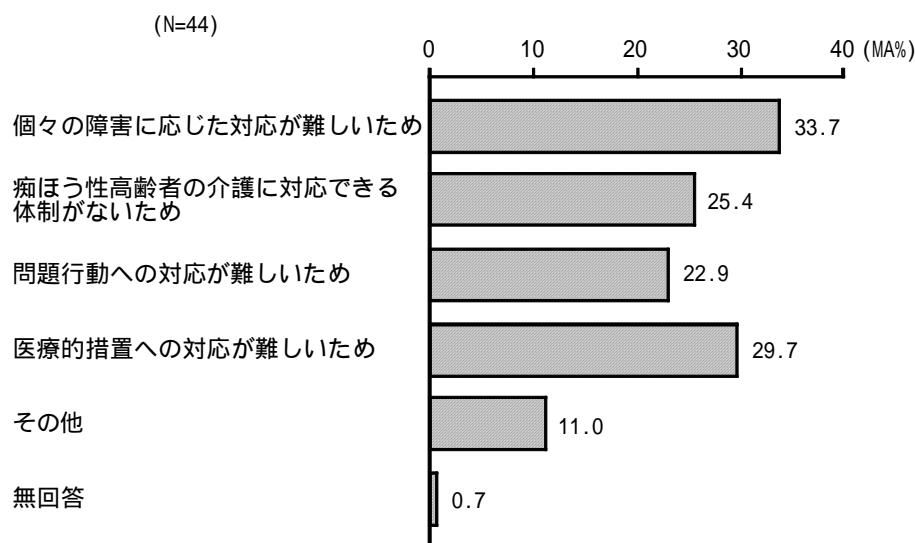
図 3-25 障害や疾患等を理由に利用を断られた経験の有無



障害や疾患等を理由に事業者から介護保険サービスの利用を断られたことがある人は、2.4%となっている。

##### イ 利用を断られた主な理由

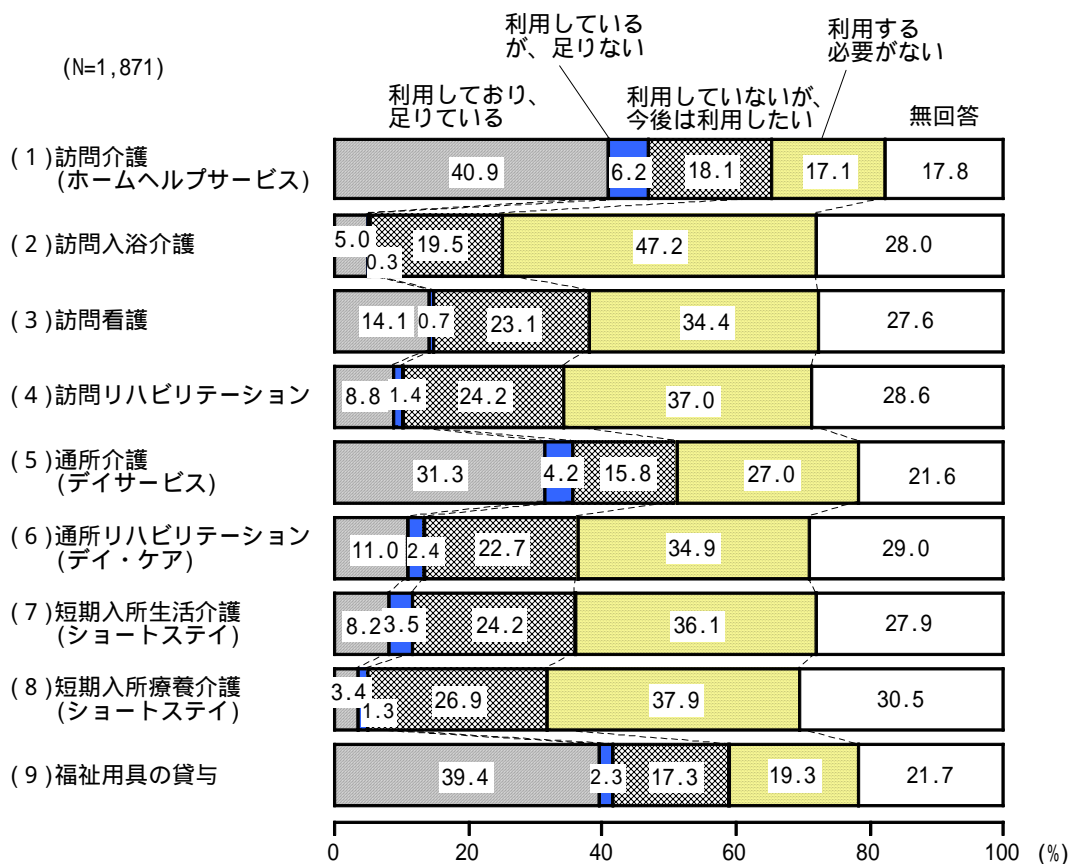
図 3-26 利用を断られた主な理由



サービスの利用を断られた主な理由としては、「個々の障害に応じた対応が難しいため」が 33.7%、「医療的措置への対応が難しいため」が 29.7%、「痴ほう性高齢者の介護に対応できる体制がないため」が 25.4%、「問題行動への対応が難しいため」が 22.9%となっている。

## (2) 居宅サービスの利用状況・利用意向

図 3-27 居宅サービスの利用状況・利用意向



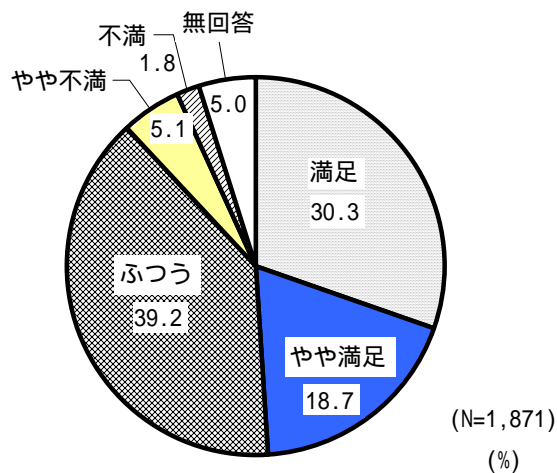
居宅サービスの利用度（「利用しており、足りている」に「利用しているが、足りない」を加えた割合）をみると、『(1) 訪問介護（ホームヘルプサービス）』『(5) 通所介護（デイサービス）』『(9) 福祉用具の貸与』が30～40%台と高くなっている。

今後の利用希望については、『(8) 短期入所療養介護（ショートステイ）』が26.9%と最も高く、『(3) 訪問看護』『(4) 訪問リハビリテーション』『(6) 通所リハビリテーション（デイ・ケア）』『(7) 短期入所生活介護（ショートステイ）』も20%を超えている。

(3) 事業者やサービス内容に関する情報への希望

ア 事業者やサービス内容に関する情報への満足度

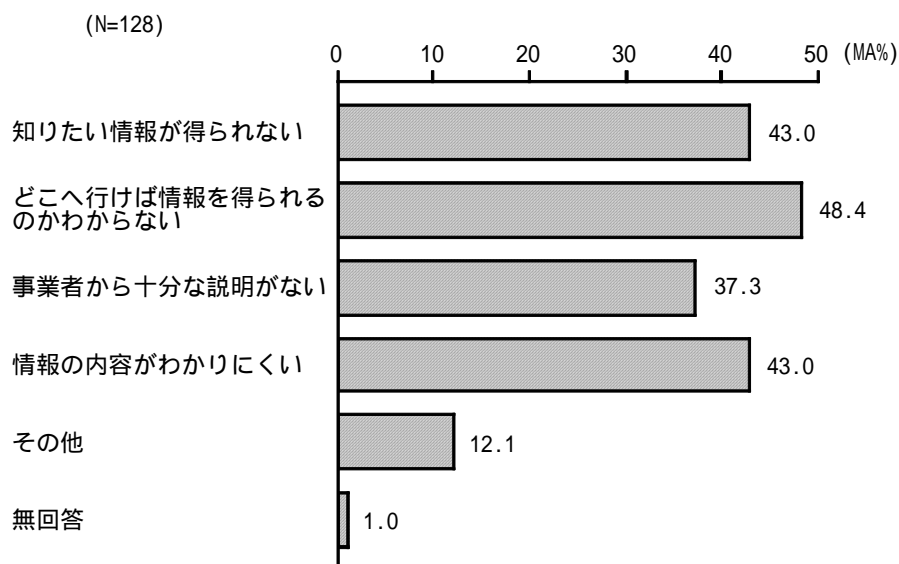
図 3-28 事業者やサービス内容に関する情報への満足度



事業者やサービス内容に関する情報入手について満足している人は、「やや満足」を合わせて全体の 49.0% となっている。

イ 不満を感じている点

図 3-29 不満を感じている点



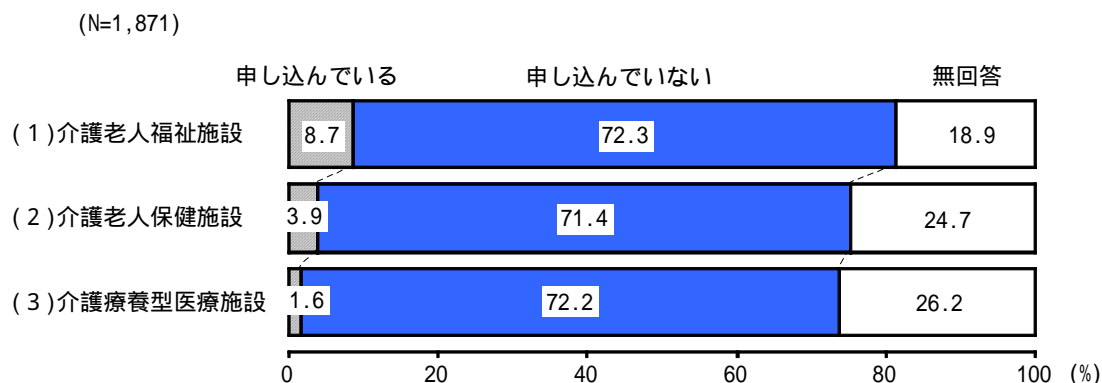
不満を感じている点としては、「どこへ行けば情報を得られるのかわからない」が 48.4% と最も多く、次いで「情報の内容がわかりにくい」、「知りたい情報が得られない」（共に 43.0%）、「事業者から十分な説明がない」（37.3%）の順で多くなっている。



(4) 介護保険施設への入所申込状況

ア 施設への申込みの有無

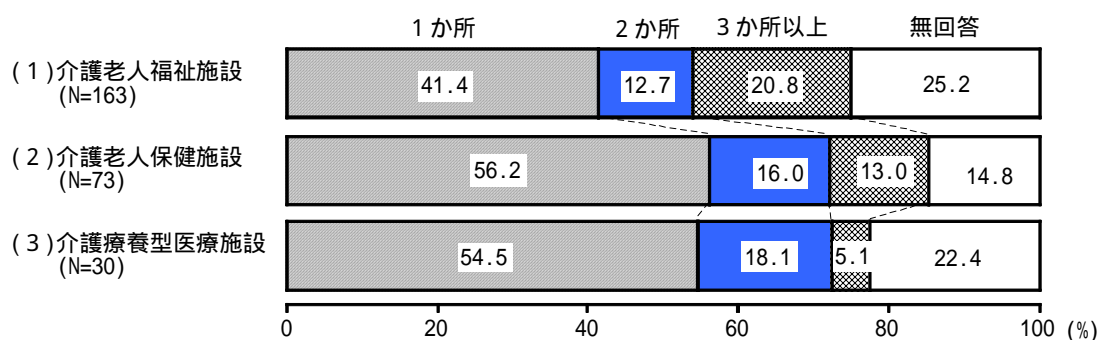
図 3-30 施設への申込みの有無



介護保険施設への申込み状況を見ると、「申し込んでいる」は、介護老人福祉施設が 8.7%、介護老人保健施設が 3.9%、介護療養型医療施設が 1.6%となっている。

イ 申込み施設数

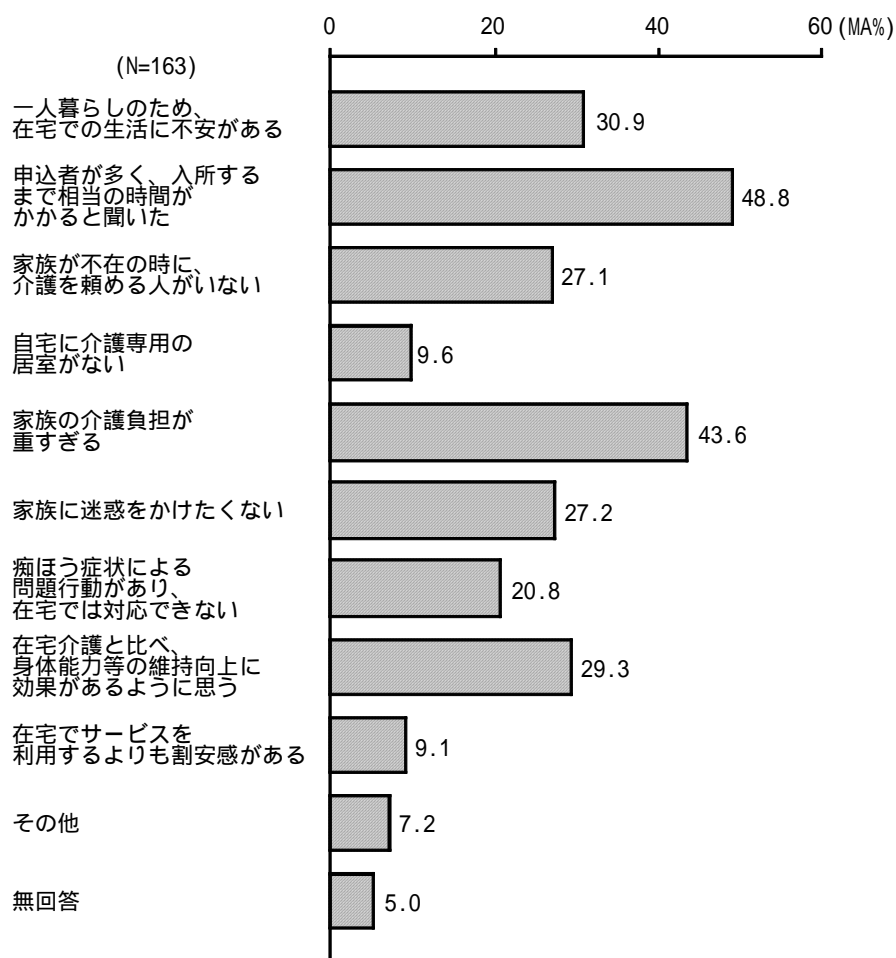
図 3-31 申込み施設数



申込み施設数については、介護老人福祉施設は「1 か所」が 41.4%と最も多く、次いで「3 か所以上」(20.8%)となっている。介護老人保健施設及び介護療養型医療施設についても、「1 か所」がそれぞれ 56.2%、54.5%と過半数を占めている。

## ウ 入所申込みをした理由

図 3-32 入所申込みをした理由



施設に入所申込みをした理由としては、「申込者が多く、入所するまで相当の時間がかかる」と聞いた」が48.8%と最も多く、次いで「家族の介護負担が重すぎる」(43.6%)、「一人暮らしのため、在宅での生活に不安がある」(30.9%)「在宅介護と比べ、身体能力等の維持向上に効果があるように思う」(29.3%)などとなっている。

表 3-12 施設への早急な入所希望の有無別 入所申込みをした理由

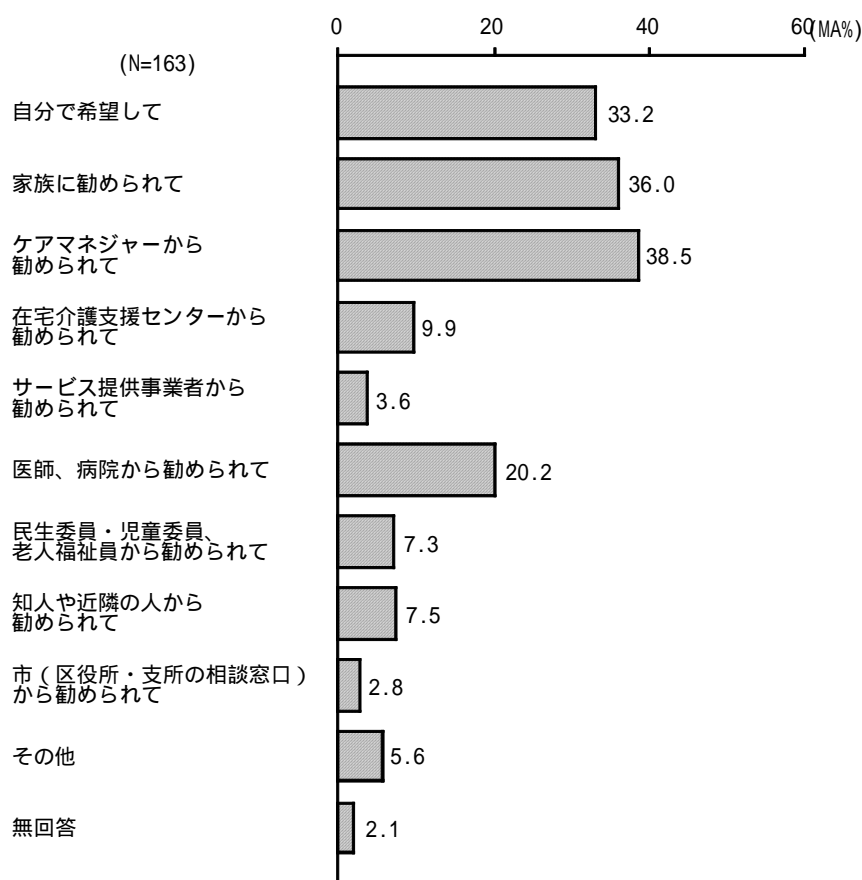
	調査数 (N)	一人暮らしの生活に不安がある	申請者が多く、入所にかかる時間が長い	家族が不在の時に、介護を頼める人がいない	自宅に介護専用の居室がない	家族の介護負担が重すぎる	家族に迷惑をかけたくない
早急な入所を希望する	55	31.9	47.2	41.5	15.6	65.2	31.3
しばらくは在宅でやっていけるため、早急な入所を希望しない	56	25.1	61.8	24.5	7.8	37.2	29.2
入院中のため、早急な入所を希望しない	9	7.1	21.1	11.9	25.9	49.2	19.8
その他	16	46.5	60.7	13.1	2.1	41.1	27.4
無回答	27	40.1	27.5	16.6	-	12.6	17.0
合計	163	30.9	48.8	27.1	9.6	43.6	27.2

	調査数 (N)	対応できない	痴ほう症など、在宅介護と比べ、身体能力等維持向上に効果があるように思う	在宅介護と比べ、身効体	在宅よりサービスが利用できる	その他	無回答
早急な入所を希望する	55	33.6	44.3	11.1	7.8	0.8	
しばらくは在宅でやっていけるため、早急な入所を希望しない	56	12.7	18.3	6.7	5.5	2.7	
入院中のため、早急な入所を希望しない	9	21.1	25.9	-	12.7	20.1	
その他	16	26.1	19.3	-	9.1	-	
無回答	27	8.7	28.7	18.5	6.7	16.4	
合計	163	20.8	29.3	9.1	7.2	5.0	

施設への早急な入所希望の有無別でみると、早急な入所を希望する人は、希望しない人よりも、「家族の介護負担が重すぎる」(65.2%)、「在宅介護と比べ、身体能力等の維持向上に効果があるように思う」(44.3%)、「家族が不在の時に、介護を頼める人がいない」(41.5%)などの割合が高くなっている。これに対し、しばらくは在宅でやっていけるため早急な入所を希望しない人は、早急な入所を希望する人よりも、「申請者が多く、入所するまで相当の時間がかかると聞いた」(61.8%)の割合が高くなっている。

エ 入所申込みをしたきっかけ

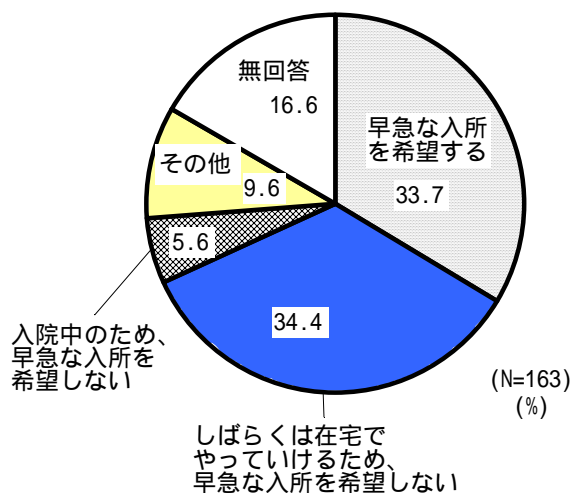
図 3-33 入所申込みをしたきっかけ



入所申込みをしたきっかけについては、「ケアマネジャーから勧められて」が 38.5% と最も多く、次いで「家族に勧められて」(36.0%) が多くなっている。

オ 早急な入所希望の有無

図 3-34 早急な入所希望の有無

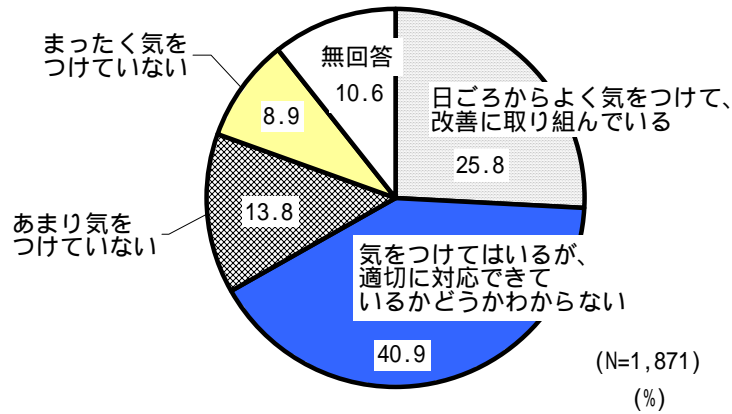


早急な入所を希望している人は 33.7% であり、「しばらくは在宅でやっていけるため早急な入所を希望しない」が 34.4% となっている。

## 4 介護予防と介護のあり方について

### (1) 心身の変化に対する意識

図 3-35 心身の変化への対応・改善の有無



心身の変化に対して日ごろから配慮している人は全体の約3分の2を占め、「改善に取り組んでいる」人は25.8%となっている。

表 3-13 要介護度別 心身の変化への対応・改善の有無 (%)

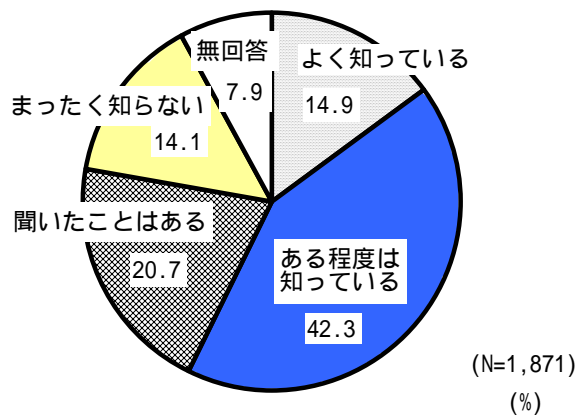
	調査数 (N)	日ごろから改善に取り組んでいる (%)	適切かどうかではあるが、気をつける (%)	あまり気をつけていない (%)	まったく気をつけていない (%)	無回答 (%)
要支援	213	38.0	43.0	7.2	1.9	10.0
要介護1	826	32.9	44.3	10.4	4.0	8.4
要介護2	348	18.1	40.3	20.5	13.1	8.1
要介護3	240	15.0	36.7	19.4	14.4	14.4
要介護4	139	15.6	33.3	17.1	18.1	15.9
要介護5	104	9.7	31.6	13.8	23.1	21.9
無回答	-	-	-	-	-	-
合計	1871	25.8	40.9	13.8	8.9	10.6

要介護度別にみると、「日ごろからよく気をつけて、改善に取り組んでいる」人の割合は、要支援で38.0%、要介護1で32.9%と、軽度層で高くなっている。

(2) 介護予防に関する知識と取り組み

ア 老化予防・介護予防に関する理解

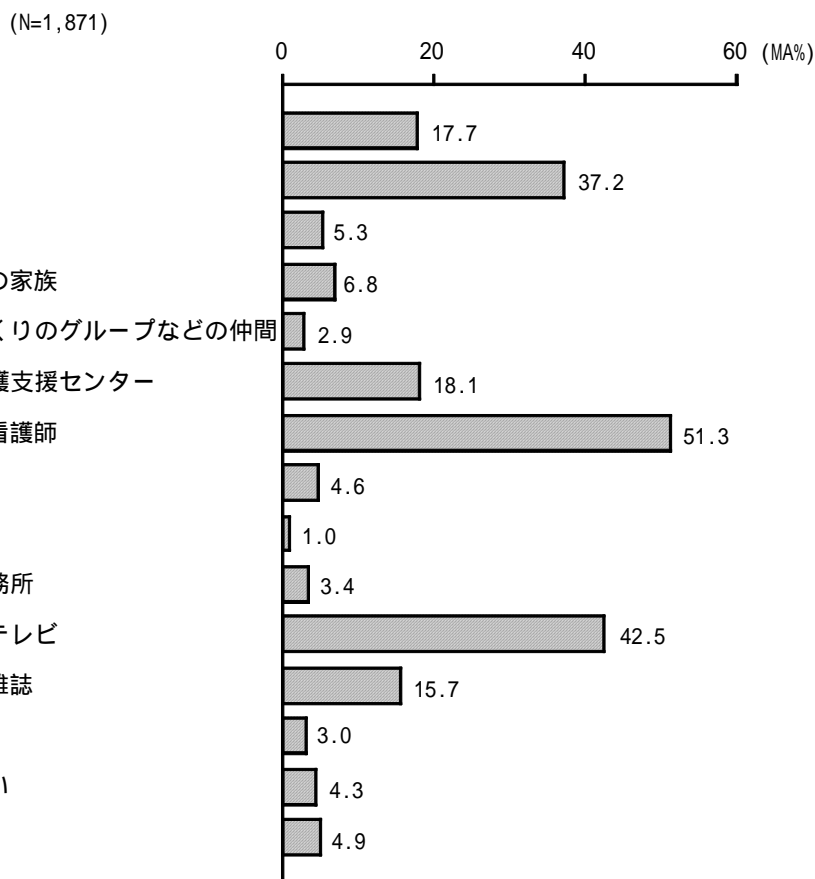
図 3-36 老化予防・介護予防に関する理解



介護予防や老化予防について「知っている」「よく知っている」に「ある程度は知っている」を加えた割合)と答えた人は57.2%となっている。

イ 病気・老化の予防や健康づくりに関する情報源

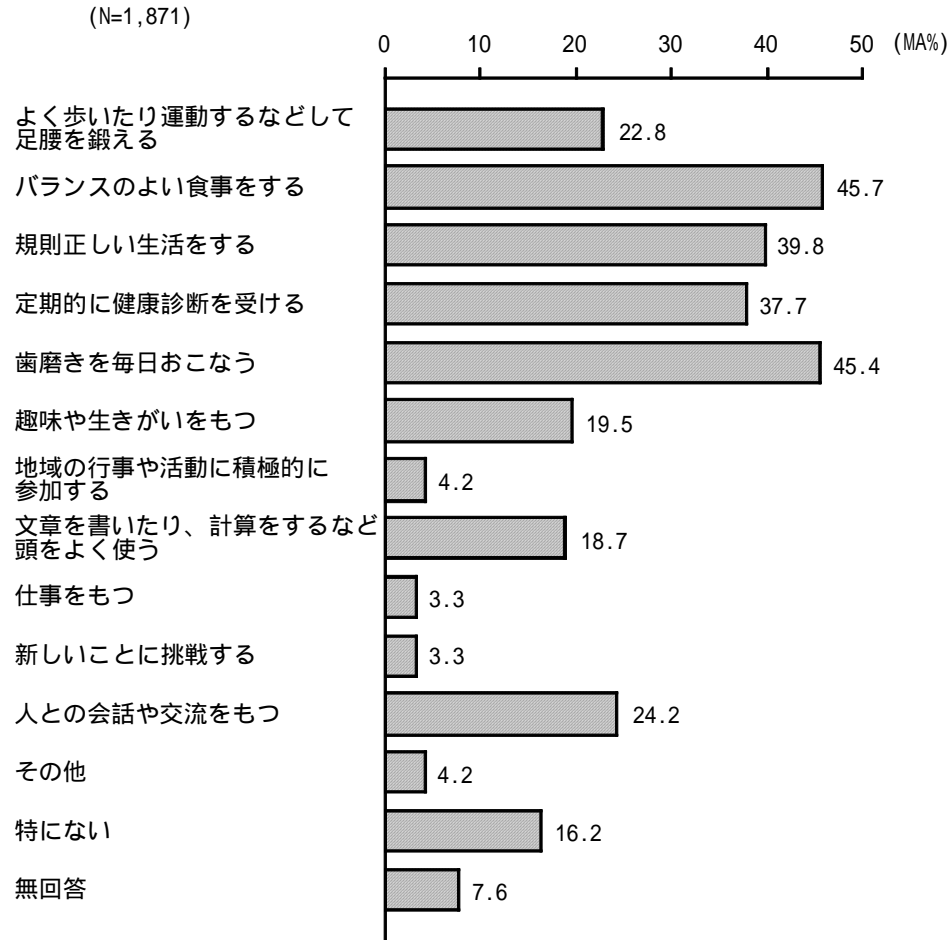
図 3-37 病気・老化の予防や健康づくりに関する情報源



病気・老化予防や健康づくりに関する情報源としては、「医師・看護師」が 51.3%と最も多く、次いで「新聞・テレビ」が 42.5%、「子ども」が 37.2%となっている。

ウ 病気・老化の予防のため取り組んでいること

図 3-38 病気・老化の予防のため取り組んでいること



病気・老化予防のために取り組んでいることとしては、「バランスのよい食事をする」が 45.7%と最も多く、次いで「歯磨きを毎日おこなう」(45.4%)、「規則正しい生活をする」(39.8%)、「定期的に健康診断を受ける」(37.7%)となっている。

表 3-14 病気・老化の予防のため取り組んでいること（未利用者との比較）

	調査数	よく歩いたり運動するなどして足腰を鍛える	バランスのよい食事をする	規則正しい生活をする	定期的に健康診断を受ける	歯磨きを毎日おこなう	趣味や生きがいをもつ	地域の行事や活動に積極的に参加する	文章を書いたり、計算をするなど頭をよく使う	仕事をもつ	新しいことに挑戦する	人との会話や交流をもつ	その他	特になし	無回答
サービス未利用者	538	29.8	42.4	36.4	36.1	45.6	19.9	8.1	22.8	6.6	6.0	22.6	4.9	15.2	13.5
サービス利用者	1871	22.8	45.7	39.8	37.7	45.4	19.5	4.2	18.7	3.3	3.3	24.2	4.2	16.2	7.6

サービス未利用者と比較すると、「よく歩いたり運動するなどして足腰を鍛える」「文章を書いたり、計算をするなど頭をよく使う」などの割合は未利用者の方が利用者よりも高く、「バランスのよい食事をする」「規則正しい生活をする」などについては、利用者の方が未利用者よりも高くなっている。

表 3-15 要介護度別 病気・老化の予防のため取り組んでいること

	調査数（N）	よく歩いたり運動するなどして足腰を鍛える	バランスのよい食事をする	規則正しい生活をする	定期的に健康診断を受ける	歯磨きを毎日おこなう	趣味や生きがいをもつ	地域の行事や活動に積極的に参加する	文章を書いたり、計算をするなど頭をよく使う	仕事をもつ	新しいことに挑戦する	人との会話や交流をもつ	その他	特になし	無回答
要支援	213	31.5	56.1	49.8	47.7	62.9	37.1	10.9	33.6	4.7	9.0	38.6	7.8	6.5	5.3
要介護1	826	26.5	51.3	42.6	41.3	54.0	24.8	5.0	23.8	4.4	3.0	27.5	3.0	10.1	7.4
要介護2	348	22.8	39.6	39.9	38.9	39.6	9.4	1.7	15.1	1.7	2.3	17.1	5.7	18.5	5.4
要介護3	240	14.1	38.6	34.8	30.4	31.7	12.9	1.9	7.5	2.2	2.5	20.7	3.1	25.1	8.2
要介護4	139	13.0	36.5	29.8	23.5	24.1	8.3	1.3	4.8	1.6	2.2	15.9	3.5	32.4	10.2
要介護5	104	9.1	28.8	21.3	20.6	20.9	6.3	1.6	3.1	2.5	0.9	11.6	4.7	35.6	17.5
無回答	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
合計	1871	22.8	45.7	39.8	37.7	45.4	19.5	4.2	18.7	3.3	3.3	24.2	4.2	16.2	7.6

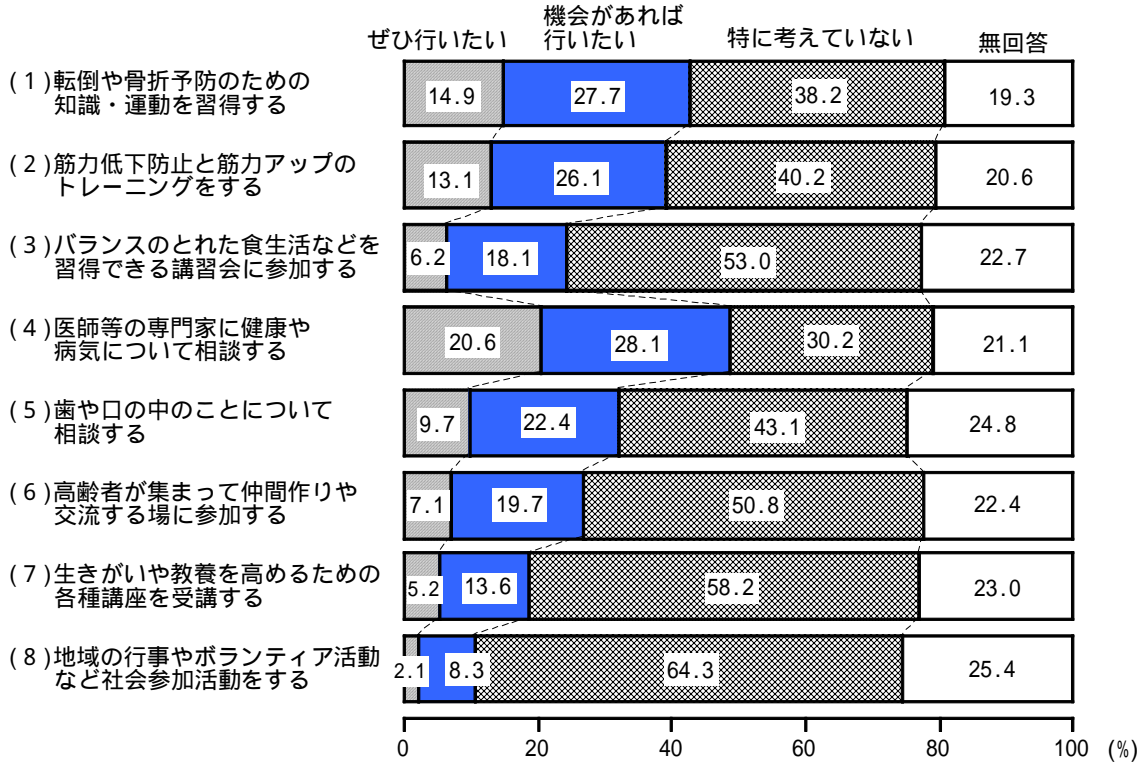
要介護度別にみると、取り組みを行っている割合は、総じて要支援が最も高く、特に「歯磨きを毎日おこなう」は62.9%となっている。



## エ 病気・老化の予防や健康づくりのためにやりたいこと

図 3-39 病気・老化の予防や健康づくりのためにやりたいこと

(N=1,871)



病気・老化予防や健康づくりのために今後行いたいこと（「ぜひ行いたい」に「機会があれば行いたい」を加えた割合）としては、『(4) 医師等の専門家に健康や病気について相談する』が 48.7%と最も多く、次いで『(1) 転倒や骨折予防のための知識・運動を習得する』（42.6%）、『(2) 筋力低下防止と筋力アップのトレーニングをする』（39.2%）などとなっている。

表 3-16 要介護度別 病気・老化の予防や健康づくりのためにやりたいこと

	調査数 (N)	(1) 転倒や骨折予防のための知識・運動を習得する				(2) 筋力低下防止と筋力アップのトレーニングをする				(3) バランスのとれた食生活などを習得できる講習会に参加する			
		ぜひ行いたい	機会があれば行いたい	特に考えていない	無回答	ぜひ行いたい	機会があれば行いたい	特に考えていない	無回答	ぜひ行いたい	機会があれば行いたい	特に考えていない	無回答
要支援	213	19.9	35.8	25.2	19.0	15.9	29.3	30.5	24.3	11.5	21.5	40.8	26.2
要介護1	826	17.4	28.9	33.2	20.5	14.4	27.9	36.2	21.5	6.7	21.5	48.0	23.8
要介護2	348	12.1	26.8	47.3	13.8	10.1	24.2	51.0	14.8	5.0	13.8	65.4	15.8
要介護3	240	11.6	26.3	46.4	15.7	12.2	26.3	44.5	16.9	3.1	14.4	62.4	20.1
要介護4	139	10.8	21.3	44.4	23.5	12.1	20.6	44.1	23.2	4.1	14.9	55.9	25.1
要介護5	104	6.3	16.9	45.6	31.3	9.7	19.7	40.0	30.6	5.0	12.2	50.9	31.9
無回答	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
合計	1871	14.9	27.7	38.2	19.3	13.1	26.1	40.2	20.6	6.2	18.1	53.0	22.7

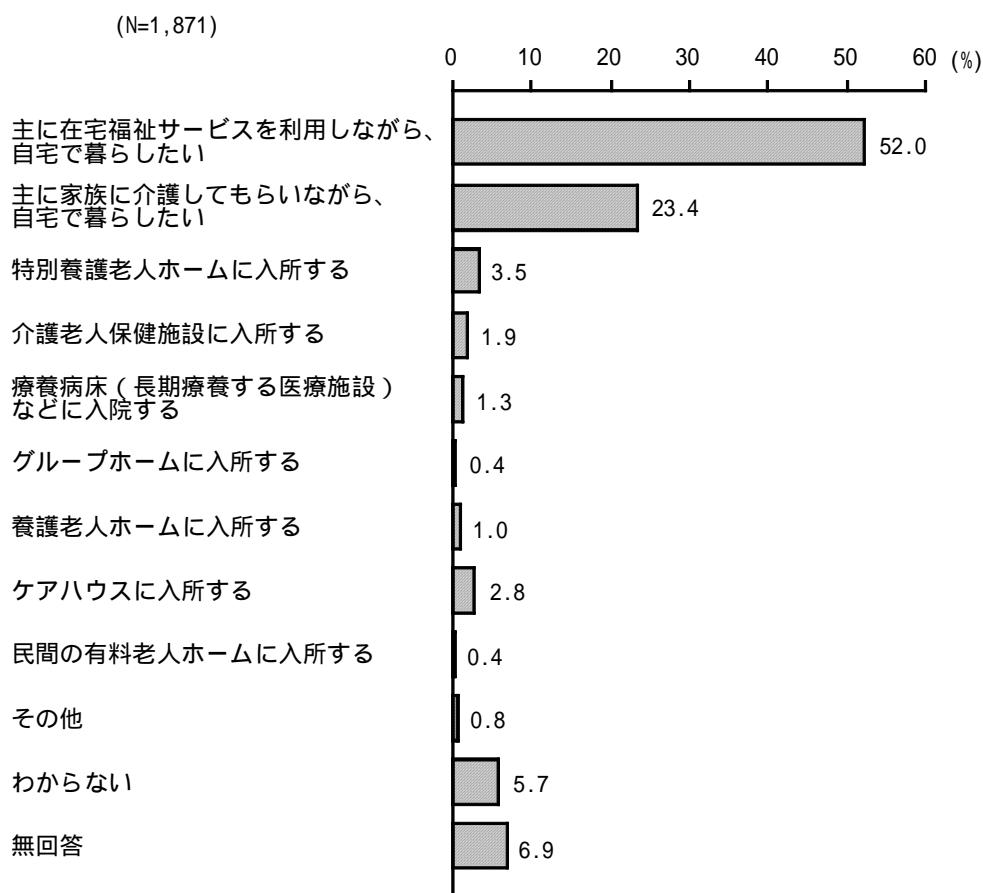
	調査数 (N)	(4) 医師等の専門家に健康や病気について相談する				(5) 歯や口の中のことについて相談する				(6) 高齢者が集まって仲間作りや交流する場に参加する			
		ぜひ行いたい	機会があれば行いたい	特に考えていない	無回答	ぜひ行いたい	機会があれば行いたい	特に考えていない	無回答	ぜひ行いたい	機会があれば行いたい	特に考えていない	無回答
要支援	213	26.5	33.6	17.4	22.4	15.9	22.4	31.8	29.9	11.8	23.1	39.6	25.5
要介護1	826	22.5	28.9	25.2	23.5	9.7	26.8	36.6	26.8	6.4	21.5	47.7	24.5
要介護2	348	20.8	23.8	41.3	14.1	9.4	16.4	56.0	18.1	7.7	18.8	59.1	14.4
要介護3	240	15.0	27.0	40.8	17.2	4.4	21.0	54.9	19.7	5.3	17.6	58.9	18.2
要介護4	139	13.3	30.8	32.7	23.2	10.2	16.2	49.2	24.4	7.3	16.5	51.7	24.4
要介護5	104	15.0	24.4	31.3	29.4	9.4	18.1	39.7	32.8	4.1	11.9	51.9	32.2
無回答	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
合計	1871	20.6	28.1	30.2	21.1	9.7	22.4	43.1	24.8	7.1	19.7	50.8	22.4

	調査数 (N)	(7) 生きがいや教養を高めるための各種講座を受講する				(8) 地域の行事やボランティア活動など社会参加活動をする			
		ぜひ行いたい	機会があれば行いたい	特に考えていない	無回答	ぜひ行いたい	機会があれば行いたい	特に考えていない	無回答
要支援	213	8.1	21.2	43.0	27.7	4.4	9.0	54.2	32.4
要介護1	826	7.4	15.8	51.7	25.2	2.0	11.7	58.7	27.5
要介護2	348	2.3	11.7	71.8	14.1	2.0	5.4	75.8	16.8
要介護3	240	1.9	8.8	70.5	18.8	1.3	3.8	75.5	19.4
要介護4	139	2.9	7.0	65.1	25.1	1.3	3.8	67.3	27.6
要介護5	104	1.9	6.3	58.8	33.1	1.3	5.0	60.0	33.8
無回答	-	-	-	-	-	-	-	-	-
合計	1871	5.2	13.6	58.2	23.0	2.1	8.3	64.3	25.4

「ぜひ行いたい」に「機会があれば行いたい」を加えた割合について、要介護度別にみると、『(1) 転倒や骨折予防のための知識・運動を習得する』及び『(2) 筋力低下防止と筋力アップのトレーニングをする』は要支援及び要介護1で割合が高く、40%を超えている。また、『(4) 医師等の専門家に健康や病気について相談する』については要支援で60.1%、要介護1で51.4%となっているが、要介護2以上でも概ね40%を超えている。

### (3) 住まいと介護について希望する暮らし方

図 3-40 住まいと介護について希望する暮らし方



住まいと介護について希望する暮らし方としては、「主に在宅福祉サービスを利用しながら、自宅で暮らしたい」が 52.0%、「主に家族に介護してもらいながら、自宅で暮らしたい」が 23.4%となっており、合計すると全体の 75.4%が自宅での生活を希望している。

表 3-17 家族介護力別 住まいと介護について希望する暮らし方

	調査数 (N)	でを主 暮らした 利用しな がら、自 宅サー ビス	らに しいな がら、 自 宅で 暮も	主 に家 族に 介 護 し て も	入 所 特 別 養 護 老 人 ホ ー ム に	所 介 護 老 人 保 健 施 設 に 入	院 養 老 院 等 に 入 所 す る	療 養 病 床 ( 長 期 療 養 す る 施 設 ) な ど に 入 所 す る	す る グ ル ー プ ホ ー ム に 入 所
ひとり暮らし	520	61.7	9.2	3.9	1.7	1.2	0.4		
夫婦のみの世帯	536	58.2	19.7	2.3	1.4	1.6	0.5		
本人と兄弟姉妹/本人と親	49	48.8	22.6	6.3	3.3	-	-		
子ども・孫と同居だが、昼間ひとりきりになることがある	424	45.6	32.2	3.9	1.5	0.8	-		
子ども・孫と同居で、昼間ひとりきりになることはない	248	36.0	44.0	2.7	2.4	1.4	1.2		
無回答	93	35.8	28.8	5.4	6.9	2.1	-		
合計	1871	52.0	23.4	3.5	1.9	1.3	0.4		

	調査数 (N)	す養 護 老 人 ホ ー ム に 入 所	ケ ア ハ ウ ス に 入 所 す る	に 民 間 の 有 料 老 人 ホ ー ム	そ の 他	わ か ら な い	無 回 答
ひとり暮らし	520	1.0	5.5	0.8	1.5	4.1	9.0
夫婦のみの世帯	536	1.7	1.2	0.6	0.2	6.8	5.8
本人と兄弟姉妹/本人と親	49	1.4	2.9	-	0.7	5.7	8.3
子ども・孫と同居だが、昼間ひとりきりになることがある	424	0.7	2.6	-	1.2	7.0	4.5
子ども・孫と同居で、昼間ひとりきりになることはない	248	0.2	1.0	0.1	0.1	4.7	6.2
無回答	93	-	3.0	-	0.3	4.7	13.0
合計	1871	1.0	2.8	0.4	0.8	5.7	6.9

家族介護力別にみると、ひとり暮らし、及び夫婦のみの世帯では、「主に在宅福祉サービスを利用しながら、自宅で暮らしたい」が60%前後と高い。一方、子ども・孫との同居世帯では「主に家族に介護してもらいながら、自宅で暮らしたい」の割合が相対的に高く、特に、子ども・孫と同居で、昼間ひとりきりになることはない世帯では、44.0%と最も高くなっている。

表 3-18 要介護度別 住まいと介護について希望する暮らし方

	調査数 (N)	(%)											
		で暮らしたい	主に在宅福祉サービス	主に家族に介護してもらいながら、自宅で暮らしたい	特別養護老人ホームに入所する	介護老人保健施設に入所する	療養病床(長期療養する医療施設)などに入院する	グループホームに入所する	養護老人ホームに入所する	ケアハウスに入所する	民間の有料老人ホームに入所する	その他	わからない
要支援	213	57.3	14.0	1.6	1.6	1.2	-	1.9	5.9	0.9	0.9	7.2	7.5
要介護 1	826	60.1	19.5	1.0	1.7	0.3	0.3	1.0	3.0	0.3	0.7	4.4	7.7
要介護 2	348	43.3	30.9	6.0	1.3	1.3	1.0	1.0	2.7	0.3	0.3	7.7	4.0
要介護 3	240	44.2	27.3	6.3	3.4	2.5	0.6	0.3	1.3	0.3	0.9	6.9	6.0
要介護 4	139	40.3	31.4	7.9	2.9	2.5	-	1.0	1.3	0.3	1.3	2.9	8.3
要介護 5	104	39.7	28.4	5.6	2.2	4.1	-	0.3	0.9	0.3	2.2	7.2	9.1
無回答	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
合計	1871	52.0	23.4	3.5	1.9	1.3	0.4	1.0	2.8	0.4	0.8	5.7	6.9

要介護度別にみると、「主に在宅福祉サービスを利用しながら、自宅で暮らしたい」の割合は要支援，要介護 1 で 60%前後を占める。一方，要介護 2 以上の人では、「主に家族に介護してもらいながら、自宅で暮らしたい」が 30%前後となっているとともに、介護保険 3 施設を希望する人が 10%前後みられる。

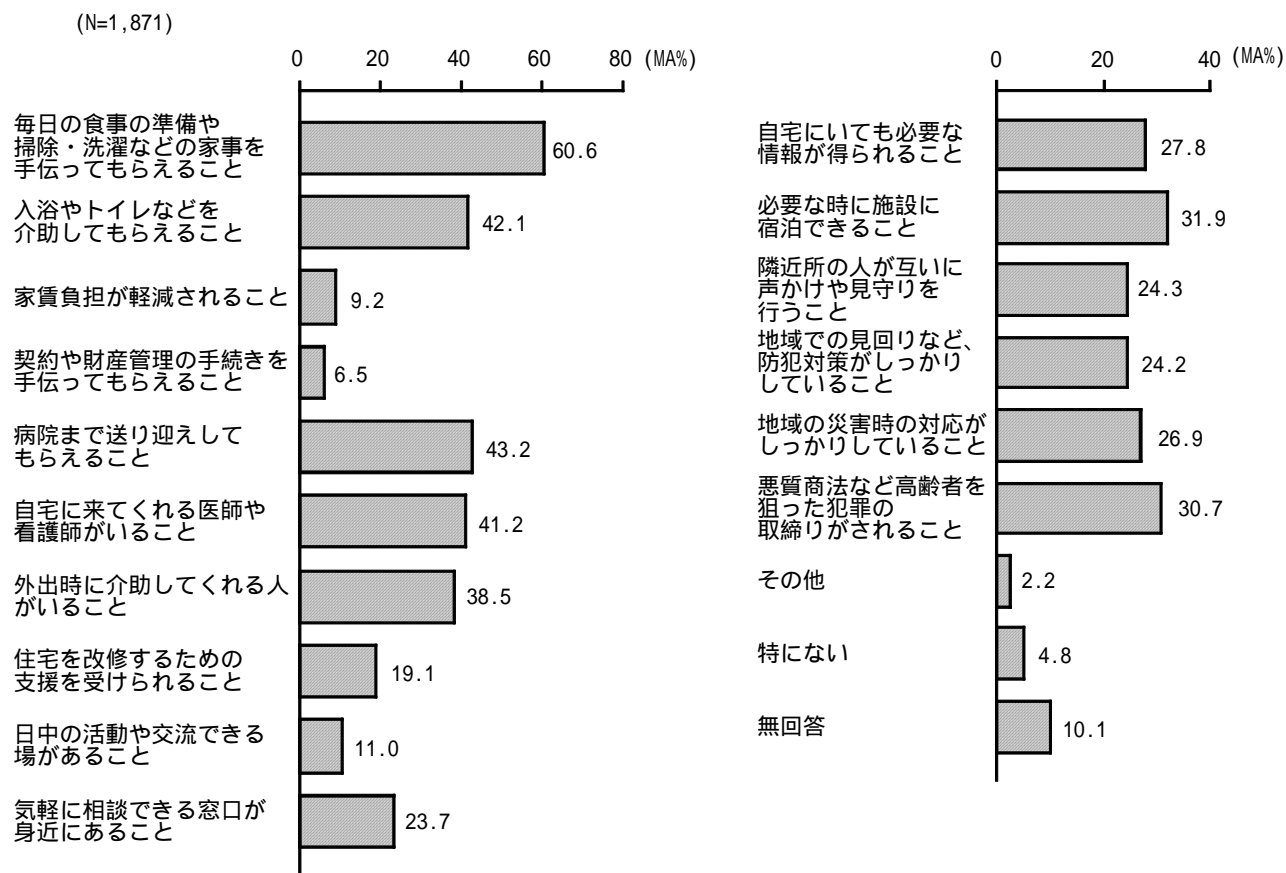
表 3-19 施設への入所申し込みの有無別 住まいと介護について希望する暮らし方

	調査数 (N)	(%)											
		で暮らしたい	主に在宅福祉サービス	主に家族に介護してもらいながら、自宅で暮らしたい	特別養護老人ホームに入所する	介護老人保健施設に入所する	療養病床(長期療養する医療施設)などに入院する	グループホームに入所する	養護老人ホームに入所する	ケアハウスに入所する	民間の有料老人ホームに入所する	その他	わからない
申し込んでいる	151	31.6	15.5	20.6	8.1	3.9	-	0.8	6.0	-	0.5	7.0	6.2
申し込んでいない	1404	54.9	25.9	2.2	1.2	0.9	0.3	1.1	2.6	0.5	0.8	5.5	4.1
無回答	315	48.9	15.9	0.7	2.2	1.5	1.1	0.7	2.4	0.2	1.0	5.7	19.6
合計	1871	52.0	23.4	3.5	1.9	1.3	0.4	1.0	2.8	0.4	0.8	5.7	6.9

施設への入所申し込みの有無別にみると、入所申込をしている人は、申込していない人よりも、介護保険 3 施設やケアハウスを希望する割合が高いのに対し、申込していない人では、「主に在宅福祉サービスを利用しながら、自宅で暮らしたい」(54.9%)と「主に家族に介護してもらいながら、自宅で暮らしたい」(25.9%)を合わせて 80%強を占めている。

## (4) 在宅生活を続けていく上で必要な支援

図 3-41 在宅生活を続けていく上で必要な支援



在宅生活を続けていく上で必要な支援としては、「毎日の食事の準備や掃除・洗濯などの家事を手伝ってもらえること」が60.6%と最も多く、次いで「病院まで送り迎えしてもらえること」(43.2%)、「入浴やトイレなどを介助してもらえること」(42.1%)、「自宅に来てくれる医師や看護師がいること」(41.2%)、「外出時に介助してくれる人がいること」(38.5%)などとなっている。

表 3-20 要介護度別 自宅で生活を続けていくために必要な支援

	調査数 (N)	手除毎 伝・日の つ洗濯食 もなどの らえ家事 るを掃	助入浴 してや もらトイレ えるなど るを介	こと家 賃負担 が軽減 される	こと契 約や財 産管理 の手續 きを 手伝つ てもら える	も病 院まで 送り迎 えして	や自 宅に 来て くれる 医師 や 看護 師が いる こと	る外 出時 に介 助し てく れ	支住 援宅 を改 修す るた めの こと	る日 中の 活動 や交 流で き	が気 身近 に相 談で きる 窓口
要支援	213	67.0	29.0	11.2	8.4	35.8	37.1	28.0	15.3	14.0	28.3
要介護 1	826	62.1	33.2	9.7	6.0	44.6	37.9	37.6	20.1	9.1	24.8
要介護 2	348	62.8	50.0	8.4	6.0	46.0	39.6	44.0	19.1	13.4	23.5
要介護 3	240	59.6	59.9	7.8	7.5	48.0	47.3	44.5	20.7	13.2	20.7
要介護 4	139	50.8	58.1	8.6	6.0	36.5	52.7	41.3	17.8	9.8	16.8
要介護 5	104	44.7	50.6	8.4	5.6	36.3	51.3	30.9	16.3	8.1	22.5
無回答	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
合計	1871	60.6	42.1	9.2	6.5	43.2	41.2	38.5	19.1	11.0	23.7

	調査数 (N)	報自 が宅 に得 られ ても 必要 な情 報	で必 要な 時に 施設 に宿 泊	とか隣 け近 や所 見の 守り 人が 互に 行い うこ 声	て防地 域で の対 策が しつ かり し	し地域 の災 害時 にの 対応 が	さ狙悪 れた質 犯罪 など 高 齢者 を取 締り が	その 他	特 に な い	無 回 答
要支援	213	37.4	25.5	34.0	35.2	34.0	37.4	2.8	3.7	8.4
要介護 1	826	31.5	27.5	28.2	26.5	29.5	34.2	1.7	4.0	11.4
要介護 2	348	21.1	33.9	20.1	21.1	25.2	31.5	3.0	5.7	7.0
要介護 3	240	21.9	40.4	17.9	18.5	20.7	23.5	1.9	3.4	8.8
要介護 4	139	21.3	44.1	14.0	17.8	21.9	19.7	2.5	7.6	12.1
要介護 5	104	22.5	37.8	15.9	15.6	19.1	17.8	2.5	9.7	14.4
無回答	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
合計	1871	27.8	31.9	24.3	24.2	26.9	30.7	2.2	4.8	10.1

要介護度別にみると、「入浴やトイレなどを介助してもらえること」は要介護 2 以上で 50%を超えており、特に要介護 3 及び 4 では 60%近くとなっている。また、「自宅に来てくれる医師や看護師がいること」は、要介護度が高くなるほど割合が増加し、要介護 4 及び 5 では 50%強となっている。一方、「悪質商法など高齢者を狙った犯罪の取締りがされること」「自宅にいても必要な情報が得られること」などについては、軽度層で割合が高くなっている。

表 3-21 家族介護力別 自宅で生活を続けていくために必要な支援

	調査数 (N)	手伝つてもらうこと	毎日の食事の準備や掃除	入浴やトイレなどを介助してもらうこと	家事負担が軽減されること	契約や財産管理の手続きを手伝ってもらうこと	病院まで送り迎えしてもらうこと	自宅に来てくれる医師や看護師がいること	外出時に介助してくれる人がいること	住宅を改修するための支援を受けること	日中の活動や交流できる場があること	気軽に相談できる窓口が身近にあること
ひとり暮らし	520	68.8	34.1	13.6	8.8	38.0	37.8	38.8	18.8	15.5	28.7	
夫婦のみの世帯	536	63.1	39.9	10.2	4.2	47.7	41.8	37.6	22.1	8.4	26.3	
本人と兄弟姉妹 / 本人と親	49	54.5	40.3	2.5	5.7	25.1	18.4	21.4	16.0	0.7	15.4	
子ども・孫と同居だが、昼間ひとりきりになることがある	424	56.8	52.0	6.6	7.0	48.9	47.8	40.4	20.5	12.0	21.4	
子ども・孫と同居で、昼間ひとりきりになることはない	248	52.0	47.8	3.9	4.0	39.8	43.3	42.0	14.2	6.7	15.2	
無回答	93	44.2	39.7	9.1	11.2	39.6	32.6	32.4	11.0	12.3	19.1	
合計	1871	60.6	42.1	9.2	6.5	43.2	41.2	38.5	19.1	11.0	23.7	

	調査数 (N)	報自宅にいられても必要な情報	必要な時に施設に宿泊できること	と隣近所の人や見守りを行うこと	防犯対策の見回りなど、していること	地域の災害時の対応がしつかりしていること	狙われた犯罪など高年齢者を狙った犯罪など取締りが厳格なところ	その他	特になし	無回答
ひとり暮らし	520	31.2	28.8	29.7	30.6	29.7	34.6	1.8	4.4	12.1
夫婦のみの世帯	536	26.5	31.2	26.8	26.0	31.9	33.8	1.5	3.8	8.5
本人と兄弟姉妹 / 本人と親	49	6.0	28.8	13.2	15.0	20.0	19.8	13.8	1.4	14.5
子ども・孫と同居だが、昼間ひとりきりになることがある	424	33.0	36.6	20.5	21.7	23.9	31.5	2.4	4.4	6.7
子ども・孫と同居で、昼間ひとりきりになることはない	248	20.7	36.2	16.9	17.2	21.4	20.9	1.3	9.6	10.0
無回答	93	22.5	23.4	22.4	13.2	15.1	20.0	3.7	3.7	21.7
合計	1871	27.8	31.9	24.3	24.2	26.9	30.7	2.2	4.8	10.1

家族介護力別にみると、ひとり暮らしでは「毎日の食事の準備や掃除・洗濯などの家事を手伝ってもらうこと」(68.8%)、「地域での見回りなど防犯対策がしっかりしていること」(30.6%)、「隣近所の人や見守りを行うこと」(29.7%)「気軽に相談できる窓口が身近にあること」(28.7%)などの項目について、他の世帯と比べて割合が高くなっている。一方、子ども・孫と同居だが、昼間ひとりきりになることがある世帯では、「入浴やトイレなどを介助してもらうこと」(52.0%)、「自宅に来てくれる医師や看護師がいること」(47.8%)などの割合が相対的に高くなっている。



表 3-22 住まいと介護について希望する暮らし方別  
 自宅で生活を続けていくために必要な支援

	調査数 (N)	手除毎 伝・洗の食 つ濯事 てもな らえの準 るえ備 こと家掃 を事	助入 し浴 ても らし えな こと を介	こ家 と賃 負 担 が 軽 減 さ れ る	き契 と約 手や 伝財 つ産 も管 ら理 えの 手 続	も病 ら院 えま るで こと送 り 迎 え し て	や自 宅 に 来 て い る こ と 医 師	る外 人 が い る こ と 介 助 し て く れ	支住 援宅 をを 受改 け修 らす る た め の	る日 中 の 活 動 や 交 流 で き る こ と	が気 身 軽 に 相 談 で き る 窓 口
主に在宅福祉サービスを利用しながら、自宅で暮らしたい	973	70.7	44.5	10.5	6.3	47.5	47.6	44.6	21.9	13.0	27.4
主に家族に介護してもらいながら、自宅で暮らしたい	437	63.5	49.7	7.4	6.6	50.3	44.1	42.8	19.5	9.7	22.4
特別養護老人ホームに入所する	65	58.4	56.6	8.3	6.9	40.2	39.8	28.1	20.6	9.0	22.3
介護老人保健施設に入所する	36	37.1	36.8	16.7	4.4	38.5	31.1	29.3	18.9	13.3	19.1
療養病床（長期療養する医療施設）などに入院する	24	54.1	40.2	7.4	12.6	31.8	45.9	16.7	22.7	12.2	25.9
グループホームに入所する	8	39.7	39.7	15.0	15.0	-	-	30.0	-	-	-
養護老人ホームに入所する	18	34.5	31.5	-	7.3	32.8	10.2	13.3	6.1	3.6	18.9
ケアハウスに入所する	53	51.1	38.4	11.4	8.0	36.7	32.4	31.5	16.3	11.8	26.9
民間の有料老人ホームに入所する	7	100.0	43.8	5.9	5.9	53.9	60.9	30.5	14.8	5.9	8.9
その他	15	36.3	34.7	29.2	6.6	26.1	30.6	19.6	13.1	7.3	18.9
わからない	106	37.7	32.3	8.2	9.5	33.3	30.1	25.7	16.2	11.2	20.8
無回答	129	12.3	4.9	3.3	2.9	8.1	5.6	9.5	2.7	2.0	7.0
合計	1871	60.6	42.1	9.2	6.5	43.2	41.2	38.5	19.1	11.0	23.7

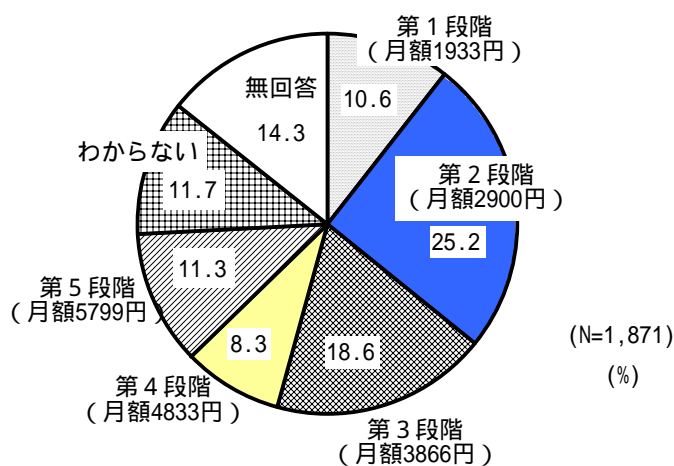
	調査数 (N)	報自 が宅 得に らら れて も必 要な 情	で必 要な 時 に施 設に 宿泊	と か隣 け近 や所 見の 人が 互に 行い うこ 声	防地 域で の災 害時 の対 応が	し地 域の 災害 時の 対応 が	さ狙 れた た犯 罪な ど高 齢者 がを	その他	特 に な い	無 回 答
主に在宅福祉サービスを利用しながら、自宅で暮らしたい	973	33.6	34.0	30.2	31.5	35.2	37.9	1.7	3.0	4.2
主に家族に介護してもらいながら、自宅で暮らしたい	437	29.7	30.6	20.4	20.5	21.8	27.9	1.7	4.9	3.7
特別養護老人ホームに入所する	65	18.2	35.5	21.6	15.8	14.7	29.4	7.4	9.7	7.7
介護老人保健施設に入所する	36	16.6	53.5	14.0	13.0	18.2	14.9	2.1	9.5	15.1
療養病床（長期療養する医療施設）などに入院する	24	26.8	49.7	16.7	17.7	13.7	22.7	8.1	6.4	20.4
グループホームに入所する	8	-	9.7	-	-	-	-	-	15.0	45.3
養護老人ホームに入所する	18	12.1	45.2	40.2	18.9	26.2	24.9	-	12.8	3.6
ケアハウスに入所する	53	16.2	42.1	19.8	11.5	21.1	16.8	1.3	9.4	15.6
民間の有料老人ホームに入所する	7	17.8	43.8	60.9	23.7	23.7	39.4	-	-	-
その他	15	8.8	26.2	17.5	29.0	19.1	47.5	5.1	-	30.1
わからない	106	20.2	27.3	14.8	17.1	21.5	24.8	8.0	18.2	5.0
無回答	129	3.2	8.6	6.2	3.1	2.9	3.5	-	-	73.5
合計	1871	27.8	31.9	24.3	24.2	26.9	30.7	2.2	4.8	10.1

介護や支援が必要となった場合に希望する暮らし方別にみると、主に在宅福祉サービスを利用しながら、自宅で暮らしたい人では、「毎日の食事の準備や掃除・洗濯などの家事を手伝ってもらえること」が70.7%となっている。また、特別養護老人ホームを希望する人では、食事の準備や掃除・洗濯などの家事（58.4%）と並んで、「入浴やトイレなどを介助してもらえること」（56.6%）の割合が高くなっている。

5 介護保険制度について

(1) 第1号被保険者保険料の所得段階別区分

図 3-42 介護保険料の段階

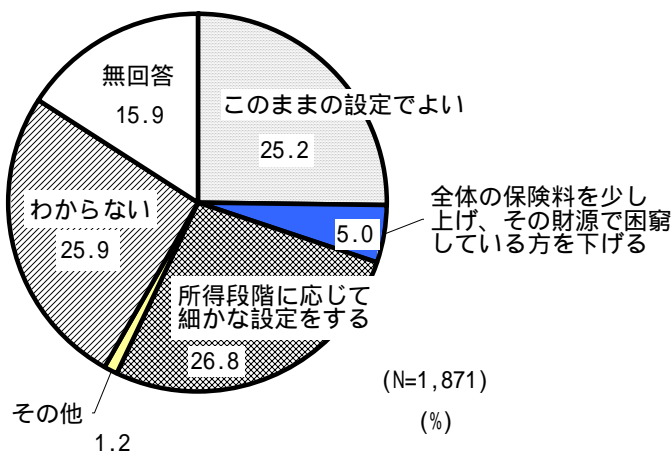


第1号被保険者保険料の所得段階別区分は、「第2段階」が25.2%、「第3段階」が18.6%と多くなっている。

(2) 保険料の設定および給付と負担のあり方についての意向

ア 介護保険料の設定について

図 3-43 介護保険料の設定について



第1号被保険者の所得段階別保険料の設定方法については、「所得段階に応じて細かな設定をする」(26.8%)、および「このままの設定でよい」(25.2%)が多く、「全体の保険料を少し上げ、その財源で困窮している方を下げる」は5.0%となっている。

表 3-23 介護保険料の段階別 介護保険料の設定についての考え

	調査数 (N)	このままの設定でよい	全体の保険料を少し上げて、その財源を少し上げる	所得段階に応じて細かな設定をする	その他	わからない	無回答
第1段階 (月額1933円)	198	29.6	10.0	26.2	1.0	24.8	8.5
第2段階 (月額2900円)	471	34.1	3.6	31.1	0.8	24.7	5.7
第3段階 (月額3866円)	348	23.3	4.6	36.0	2.2	28.0	5.9
第4段階 (月額4833円)	155	28.1	6.0	28.1	2.3	22.4	13.2
第5段階 (月額5799円)	212	28.1	8.6	21.5	1.7	26.4	13.7
わからない	219	18.0	3.3	24.6	0.7	44.1	9.3
無回答	267	10.7	2.2	12.5	0.3	13.1	61.2
合計	1871	25.2	5.0	26.8	1.2	25.9	15.9

保険料段階別にみると、第2及び第3段階の人では「所得段階に応じて細かな設定をする」が30%を超えている。また、第1及び第5段階では、「全体の保険料を少し上げ、その財源で困窮している方を下げる」が10%程度みられる。

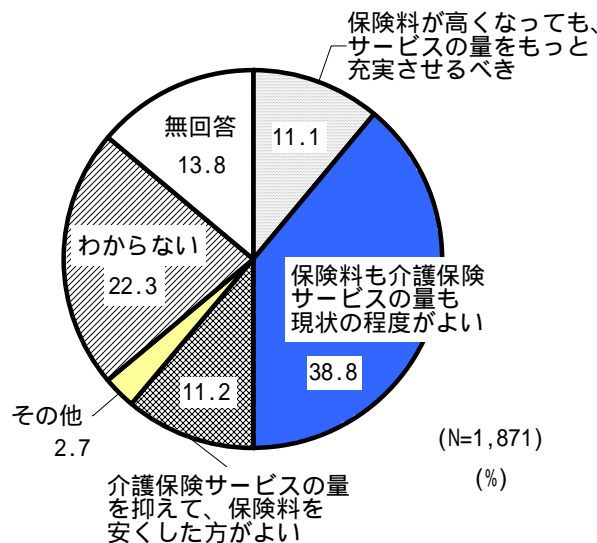
表 3-24 介護保険料の段階別 今後の保険料のあり方についての考え

	調査数 (N)	保険料が高くなってもサービスの量を充たさざるべき	保険料も介護保険の現状の程度がよい	保険料も介護保険の現状の程度がよい	介護保険サービスの量を抑制した方がよい	その他	わからない	無回答
第1段階 (月額1933円)	198	13.6	44.3	10.5	1.5	23.6	6.5	
第2段階 (月額2900円)	471	12.2	47.6	11.4	2.6	20.6	5.6	
第3段階 (月額3866円)	348	10.0	42.8	14.1	2.6	23.8	6.6	
第4段階 (月額4833円)	155	9.8	42.3	15.4	6.2	16.8	9.6	
第5段階 (月額5799円)	212	17.3	39.7	12.6	2.2	18.1	10.1	
わからない	219	12.0	22.8	10.1	5.5	42.6	6.9	
無回答	267	4.1	24.5	5.1	0.1	12.4	53.7	
合計	1871	11.1	38.8	11.2	2.7	22.3	13.8	

保険料段階別にみると、第1～第4段階の人では「保険料も介護保険サービスの量も現状の程度がよい」が40%台を占め、特に第2段階では47.6%と高い。また、第5段階では、「保険料が高くなってもサービスの量をもっと充実させるべき」が17.3%みられる。

イ 今後の保険料のあり方について

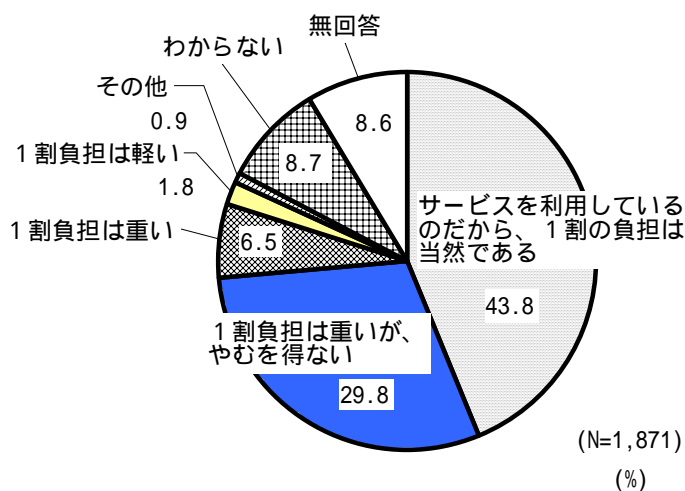
図 3-44 今後の保険料のあり方について



今後の保険料のあり方としては、「保険料も介護保険サービスの量も現状の程度がよい」が38.8%と多く、「保険料が高くなっても、サービスの量をもっと充実させるべき」「介護保険サービスの量を抑えて、保険料を安くした方がよい」はともに10%強となっている。

ウ 利用者負担について

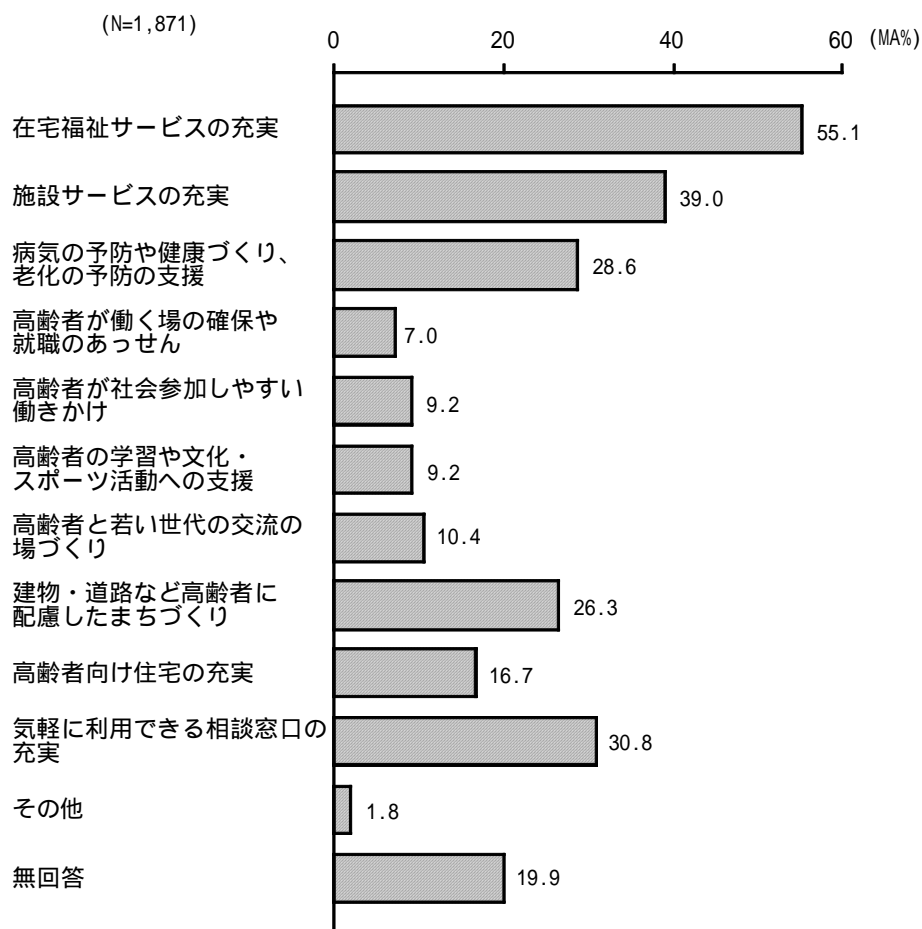
図 3-45 利用者負担について



介護サービス利用料の1割負担については、「サービスを利用しているのだから、1割の負担は当然である」が43.8%と最も多く、「1割負担は重い、やむを得ない」も29.8%と多くなっている。

### (3) 高齢者保健福祉施策に対する要望

図 3-46 高齢者保健福祉について充実を希望する施策



高齢者保健福祉について今後充実を望む施策としては、「在宅福祉サービスの充実」が 55.1%と最も多く、次いで「施設サービスの充実」(39.0%)、「気軽に利用できる相談窓口の充実」(30.8%)、「病気の予防や健康づくり、老化の防止の支援」(28.6%)、「建物・道路など高齢者に配慮したまちづくり」(26.3%)の順となっている。

## 6 在宅介護の状況について

### (1) 介護者の続柄・年代

図 3-47 介護者の続柄

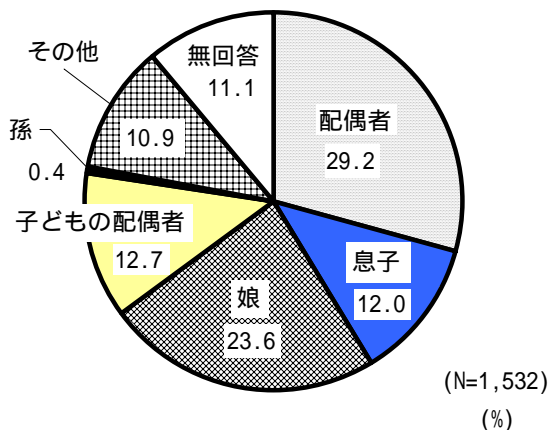
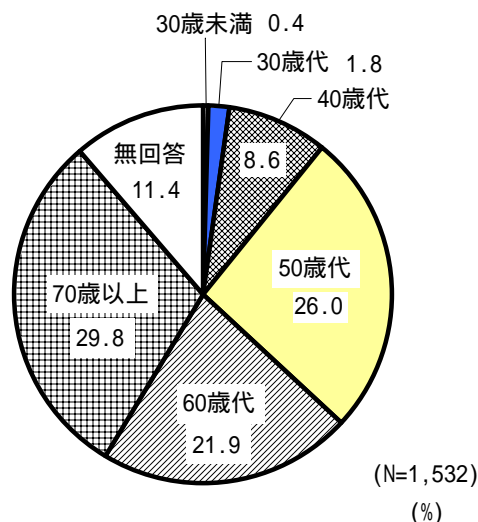


図 3-48 介護者の年代



調査対象者からみた介護者の続柄は、「配偶者」が 29.2%と最も多く、次いで「娘」(23.6%)が多くなっている。

介護者の年代は、「70歳以上」が 29.8%と最も多く、次いで「50歳代」(26.0%)、「60歳代」(21.9%)と、50歳以上が全体の 80%弱を占める。

### (2) 介護サービスの利用等にかかる意思決定者

図 3-49 介護サービスの利用等にかかる意思決定者

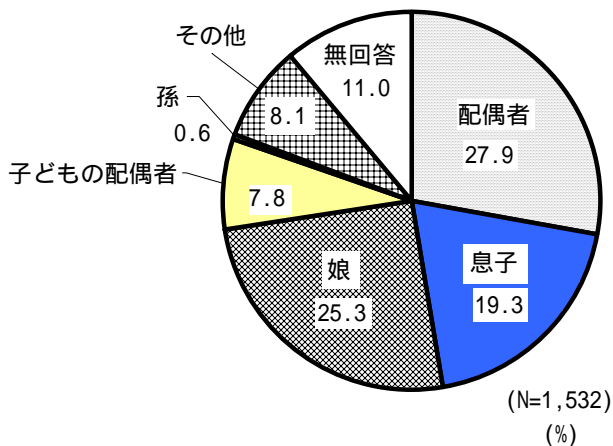
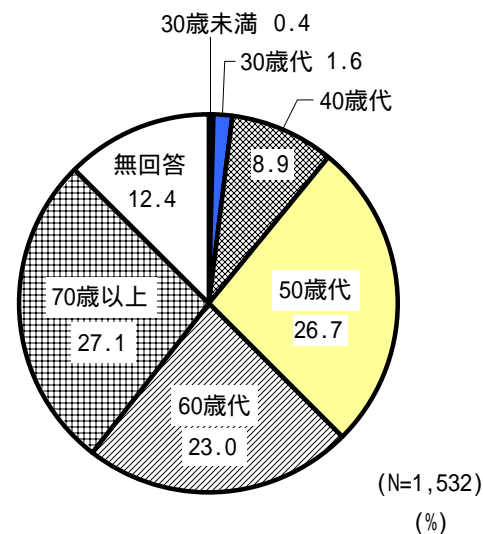


図 3-50 意思決定者の年代

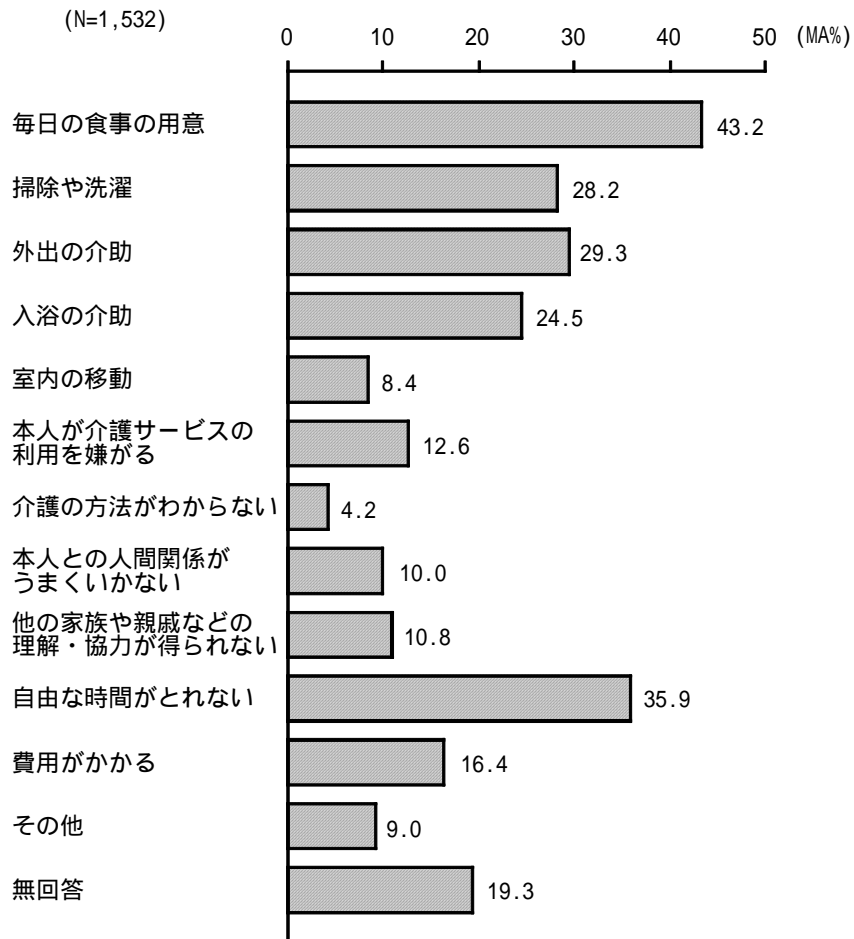


調査対象者がサービス利用する場合などの意思決定に最も関わっている人は、「配偶者」(27.9%)、「娘」(25.3%)、「息子」(19.3%)の三者が多くなっている。

この意思決定者の年代は「70歳以上」が27.1%と最も多く、次いで「50歳代」(26.7%)、「60歳代」(23.0%)と、50歳以上が全体の80%弱を占める。

### (3) 在宅介護の負担について

図 3-51 家庭における介護で負担が大きいと感じること



家庭における介護で負担が大きいと感じる介護内容は、「毎日の食事の用意」「自由な時間がとれない」がともに30%以上と多く、「掃除や洗濯」「外出の介助」「入浴の介助」の各項目についても20%台と多くなっている。

表 3-25 要介護度別 家庭での介護で負担が大きいと感じること

	調査数 (N)	毎日の食事の用意	掃除や洗濯	外出の介助	入浴の介助	室内の移動	本人が介護サービスの利用を嫌がる	介護の方法がわからない	本人との人間関係がうまくいかない	他の家族や親戚などの理解・協力が得られない	自由な時間がとれない	費用がかかる	その他	無回答
要支援	125	35.4	28.0	16.9	7.4	3.2	5.8	3.7	5.8	7.4	14.3	9.5	6.3	34.9
要介護1	627	42.5	28.8	27.9	20.4	4.4	11.9	3.1	8.0	6.6	24.8	11.5	6.2	23.9
要介護2	320	46.7	29.6	32.5	27.0	5.8	15.0	4.7	15.3	13.1	42.0	17.9	9.1	16.1
要介護3	227	41.1	27.5	38.1	35.1	12.6	16.6	5.6	11.3	15.6	49.7	21.2	11.6	10.9
要介護4	132	47.8	27.1	30.1	34.1	21.4	11.0	6.0	11.4	16.4	55.2	26.8	14.0	10.0
要介護5	101	44.2	23.9	22.9	27.1	21.3	10.3	4.8	6.5	15.8	56.8	26.8	16.5	12.6
無回答	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
合計	1532	43.2	28.2	29.3	24.5	8.4	12.6	4.2	10.0	10.8	35.9	16.4	9.0	19.3

要介護度別にみると、「自由な時間がとれない」の割合は、調査対象者の要介護度が高くなるほど増加し、要介護4及び5では50%を超えている。また、「入浴の介助」については、要介護3及び4で約34～35%、「外出の介助」については、要介護3で38.1%と最も高くなっている。

表 3-26 施設への入所申し込みの有無別 家庭での介護で負担が大きいと感じること

	調査数 (N)	毎日の食事の用意	掃除や洗濯	外出の介助	入浴の介助	室内の移動	本人が介護サービスの利用を嫌がる	介護の方法がわからない	本人との人間関係がうまくいかない	他の家族や親戚などの理解・協力が得られない	自由な時間がとれない	費用がかかる	その他	無回答
申し込んでいる	125	46.2	27.8	25.9	31.5	15.1	9.5	3.1	10.4	17.5	42.3	27.5	12.0	18.7
申し込んでいない	1178	44.5	29.4	30.1	24.5	7.8	13.5	4.7	10.7	10.6	38.0	16.3	9.5	17.1
無回答	229	34.3	22.5	27.3	20.7	8.0	9.4	2.2	6.2	8.4	21.8	11.2	4.8	30.8
合計	1532	43.2	28.2	29.3	24.5	8.4	12.6	4.2	10.0	10.8	35.9	16.4	9.0	19.3

施設への入所申し込みの有無別にみると、入所申込をしている人は、申込していない人よりも、「費用がかかる」「他の家族や親戚などの理解・協力が得られない」「室内の移動」などの割合が高くなっている。



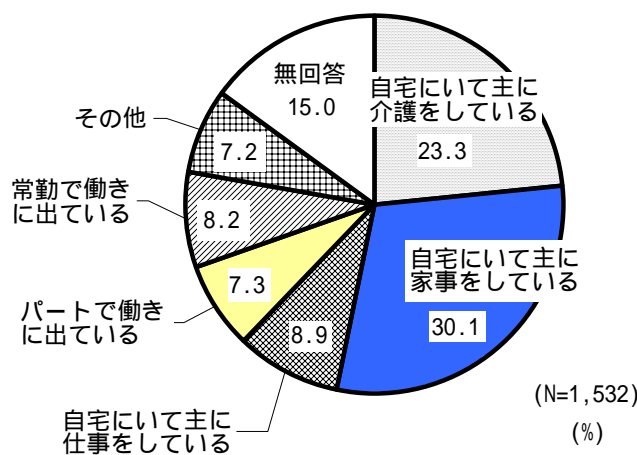
表 3-27 介護者の年代別 家庭での介護で負担が大きいと感じること

	調査数 (N)	毎日の食事の用意	掃除や洗濯	外出の介助	入浴の介助	室内の移動	本人が介護サービスの利用を嫌がる	介護の方法がわからない	本人との人間関係がうまくいかない	他の家族や親戚などとの理解・協力が得られない	自由な時間がとれない	費用がかかる	その他	無回答
30歳未満	7	-	-	41.1	6.5	-	-	-	34.6	17.3	82.3	-	6.5	11.2
30歳代	27	28.5	33.6	51.6	24.6	8.8	11.2	21.7	40.7	23.7	55.2	21.1	14.4	-
40歳代	132	43.0	30.0	33.8	29.1	6.9	16.8	10.0	20.0	15.2	41.3	25.8	11.4	7.8
50歳代	399	45.7	21.2	28.3	20.0	10.5	14.3	3.5	14.8	13.3	45.4	16.7	9.8	13.4
60歳代	336	44.4	24.1	31.8	30.9	10.4	15.7	1.9	6.9	12.8	45.6	19.2	11.2	10.4
70歳以上	457	54.2	44.6	35.2	30.0	8.9	12.1	5.6	6.9	9.2	30.9	15.5	6.8	12.7
無回答	175	10.3	8.2	4.3	5.5	-	1.3	-	-	-	0.2	5.8	5.8	78.9
合計	1532	43.2	28.2	29.3	24.5	8.4	12.6	4.2	10.0	10.8	35.9	16.4	9.0	19.3

介護者の年代別にみると、「毎日の食事の用意」「掃除や洗濯」については、70歳以上の介護者で負担が大きいと感じる割合が高くなっている。また、「入浴の介助」についても、60歳以上で30%を超えている。一方、「本人との人間関係がうまくいかない」「介護の方法がわからない」については、30～40歳代の介護者での割合が相対的に高くなっている。

#### (4) 介護者の昼間の生活状況

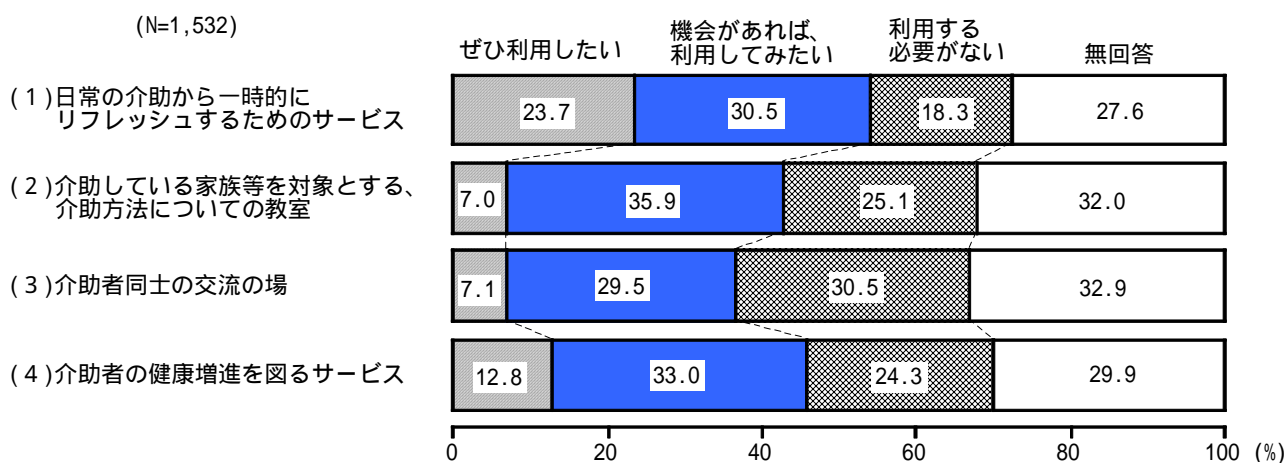
図 3-52 介護者の昼間の生活状況



介護者の昼間の生活状況をみると、「自宅にいて主に介護している」(23.3%)および「自宅にいて主に家事をしている」(30.1%)が多くなっている。

## (5) 介護者支援施策に対する意向

図 3-53 介護者が利用したいサービス



介護者が利用したいと思うサービス（「ぜひ利用したい」に「機会があれば、利用してみたい」を加えた割合）としては、『(1) 日常の介助から一時的にリフレッシュするためのサービス』が 54.2% と最も多くなっている。

## 7 自由意見

自由意見欄には、236人（記入率12.6%）から延べ256件の回答があった。回答内容の分類と件数は以下のとおりである。

1 介護保険料の負担	11
介護保険料が低所得者の負担にならないようにしてほしい（5段階区分の見直し、減免等）	4
介護保険料が高い、介護保険料を安くしてほしい	3
その他、介護保険料負担に関する意見	4
2 サービス利用料の負担	11
サービス利用料（1割負担）が低所得者の負担にならないようにしてほしい（無料利用、減免等）	4
サービス利用料が高い、サービス利用料を安くしてほしい	3
その他、サービス利用料負担に関する意見	4
3 介護保険制度全般	44
介護保険に満足している、期待している	13
家族介護を重視してほしい（精神面や経済面でのサポート等）	12
公正な制度にしてほしい（事業者や利用者間で不正・不平等がないよう調査・監視する等）	8
無駄や負担の少なく、利用しやすい制度にしてほしい（実態に即した柔軟な対応等）	5
その他、介護保険制度全般に関する意見	6
4 要介護認定	2
個々のケースを公正に調査・検討してほしい	2
5 介護保険制度に関する情報公開	7
制度の仕組みや利用方法、サービス内容等に関する情報提供を充実してほしい	7
6 ケアプラン・ケアマネジャー	7
ケアマネジャーの質の向上を図ってほしい	6
その他、ケアマネジャーに関する意見	1
7 在宅サービスの充実	59
ショートステイを希望した時すぐに使えるようにしてほしい	15
デイサービスやショートステイ等、在宅サービスの充実・質の向上を図ってほしい	14
ホームヘルパーの業務範囲を広げるなど、利用しやすくしてほしい	10
介護用品に関する意見（介護保険の範囲が狭い、おむつの支給等）	9

設定料金を現状に即したものにして，業者が不当な利益を得ないようにしてほしい	6
その他，在宅サービスの充実に関する意見	5

8 施設サービスの充実	36
介護保険施設を増やしてほしい（特別養護老人ホーム，老人保健施設等）	13
施設の入所待ちの状況を改善してほしい	8
低料金で入所できる施設を整備してほしい	5
施設職員の教育，質の向上とともに待遇の改善も図ってほしい	5
その他，施設サービスの充実に関する意見	5

9 高齢者施策全般	47
外出・移動支援を充実してほしい（移送サービス，タクシー利用時の補助等）	14
高齢者が安心できるまちづくりを進めてほしい（道路や建物の整備，独居高齢者への見守り，定期訪問等）	10
気軽に相談を受けられる窓口を整備してほしい	9
規則や手続きを簡単にわかりやすくしてほしい	5
高齢者の自立支援・健康増進施策に力を入れてほしい	5
その他，高齢者施策全般に関する意見	4

10 その他の意見	32
医療に関する意見	4
市行政に関する意見	4
今はまだ介護が必要ではないが，将来が不安である	3
その他の意見	21

